

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の経営状況について

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の経営状況について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、別紙のとおり報告する。

令和 8 年 6 月 8 日

提出者 国立市長 濱 崎 真 也

## 公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の経営状況

1. 2025年度 事業報告書
2. 2025年度 決算書
3. 2026年度 事業計画書
4. 2026年度 収支予算書



## 財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団設立趣意書

国立市は基本構想で、その都市像を「文教都市くにたち」と定め、「国立にふさわしい文化の創造」をまちづくりの目標にかかげているが、これは国立市民の誇りとなり、これによって一層、このまちに愛着を深めることができるような、地域特性を生かした新しい文化資産を創造することを意味している。そのためには、市民が主体となって、芸術文化やスポーツの諸活動を推進することのできる環境の醸成と、ふれあいの場づくりが何よりも求められているといえよう。

国立市が昭和57年、旧庁舎跡地に「くにたち市民総合体育館」を建設し、続いて昭和61年、「くにたち市民芸術小ホール」の建設に着手、昭和62年11月3日の完成に向けて、文化とスポーツの総合センターの開設準備を進めていることは、まさにこの目標の具体化にほかならない。とくにこれらの施設が、計画の段階から市議会及び市民の積極的な参加を得て、「市民が主体となって日常的に自ら使いこなすことのできる施設として、市民の芸術・文化・スポーツの拠点としたい。」との考え方が強くうち出されたことは、施設の運営についても市民参加の基本方針が明快に示されたものといえることができる。

さいわい国立市は、芸術家、文化人、スポーツの専門家など豊富な人材に恵まれている。これらの専門家をはじめ、多くの市民の知恵と力を結集して、市民の芸術・文化・スポーツを振興するための新しい組織をつくるのが急務となっている。この組織は行政からの出資を根幹とした安定的な財政基盤を保ちながら、民間の自由な経営手法を取り入れ、弾力的な運営を行うものでなければならない。

したがって、市民に対しては、優れた芸術鑑賞の機会をより多く提供できるように、また、市民自らが行う文化及びスポーツの諸活動の育成と豊かな発展を積極的に援助し、あわせて施設のより効率的な運営と市民サービスの向上を図るために、「財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団」を設立するものである。



2025年度

# 事業報告書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

# 目 次

## 事業の概要

### I. 公益事業

1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(F S Xホール) …………… 1
2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業(くにたち郷土文化館) …………… 2
3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業  
(F S Xアリーナ) …………… 3
4. 共通公益事業(総務課) …………… 4

### II. 収益事業等

1. 付帯サービス事業 …………… 5
2. その他の事業 …………… 5

### III. 管理(法人管理事業)

1. 役員及び役員会等に関する事業 …………… 5

## 事業の内訳

1. 自主・共催事業…………… 6
  - (1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業…………… 6
  - (2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業…………… 1 2
  - (3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業…………… 1 8
  - (4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業…………… 2 2
  - (5) 財団広報誌「オアシス」の発行等 …………… 2 2
  - (6) 総合評価 …………… 2 4
2. 指定管理事業 …………… 2 6
  - (1) F S Xホールの利用状況…………… 2 6
  - (2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況…………… 2 8
  - (3) F S Xアリーナの利用状況…………… 3 0
  - (4) 有料公園施設等の利用状況…………… 3 2
3. 管 理 …………… 3 4
  - (1) 役員及び役員会等に関する事業…………… 3 4

## 事業の概要

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団は、定款に掲げた文化・スポーツ事業等を企画実施し、F S Xホールなど3施設を中心とする管理・運営、諸活動を基本としながら、広く芸術・スポーツによるまちづくりを行っています。

その際、次の3点を重要課題として位置付けました。

○F S Xホールでは、様々な環境・状況にある市民が芸術文化に親しむ機会と場の提供を行う施設として、親しみやすくも優れた芸術との出会いの場であることを目指します。また社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）およびSDGsの観点から人と人との関係性を芸術文化によってつくり上げていきます。

コンパクトなサイズ感の地域ホールとして、市民参加型の事業を充実させつつも芸術性の追求に取り組み、特徴ある施設づくりを行います。また、その取り組みによって事業の充実や貸館利用の活性化を図り、外部資金の調達機会などにもつなげます。

○郷土文化館では、谷保天満宮、旧本田家住宅、旧国立駅舎、古民家などに代表される市内に現存する有形・無形の歴史的文化的遺産を、市民が国立市に強い誇りと愛情を感じる気持ちを育む重要な要素の1つであると考え、これらの歴史的文化的遺産の適切な保護と活用を行い、将来にわたって市民共有の財産として守っていきます。

また、地域に貢献する郷土文化館を目指すため、専門職員としての学芸員の専門性を活かし、くにたちの歴史、文化、環境等を啓蒙、啓発するための企画展示、資料収集、講座事業等を行います。また、参加型の事業を充実させ、利用者の調査、研究等に対応できるよう生涯学習活動の支援を行います。

○F S Xアリーナでは、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」の目標の達成のため、また、スポーツ庁の第3期スポーツ基本計画をもとに、誰もがスポーツの楽しさや喜びを味わい、さらに人々と共有することで、健康的な生活が送れるよう、1. 健康づくりのスポーツ事業の充実、2. スポーツ及びレクリエーションの普及事業の充実、3. 親と子どものスポーツ体験事業の充実、4. 小中学生スポーツ体験事業の充実、5. 共催事業の充実、6. 屋外スポーツ施設の適正な維持管理、7. 関係機関との連携の7つの運営概略を示し事業を展開していきます。

## I. 公益事業

### 1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）（F S Xホール）

○館内利用者数 47,899人（目標数68,000人）

#### A. 芸術文化事業

F S Xホールでは、芸術環境創造事業7事業、芸術振興事業15事業、その他6事業の、計28事業を実施しました。諸般の事情により実施中止とした事業もありました。主催共催別では主催17事業、共催11事業を実施しました。

##### （ア）芸術環境創造事業

教育や福祉の見地を含め、地域の芸術的人材・団体の協力を得て事業を行いました。

（一財）地域創造事業「リージョナルシアター」では、演劇の手法を用いて地域の人々と協働し創造性豊かな地域づくりを目指しました。具体的には学校でのアウトリーチ3件、市役所でのインリーチ1件、アウトリーチ2件を夏と冬の2期間実施しました。主なターゲットとしては参加が難しいとされる若い世代に向けた活動でしたが、他事業からのリピーターも散見され、今後引き続き取り組む可能性を見出しました。

定番事業である「市民一芸塾」では、6年ぶりに講師希望者向け説明会を開催し、来年度以降の同事業充実を図りました。

##### （イ）芸術振興事業

国立市文化芸術条例をふまえ、誰もが文化芸術に親しみ、より深く関わりを持つ機会を提供するとともに、鑑賞と交流の拡充を図る事業を行いました。

ホール舞台面等修繕リニューアル記念として、6月1日に世界的打楽器奏者である加藤訓子氏主宰演奏家育成プロジェクトの若手演奏家陣による現代音楽演奏会を実施しました。生まれ変わった舞台面に配された楽器が映え、9分割できる舞台機構を活かしつつ演奏機会が少ない楽曲を披露し、当館の特徴を活かした事業となりました。

2007年から実施の東京都歴史文化財団（東京文化会館）共催「フレッシュ名曲コンサート（室内楽）」では市内の桐朋中・高等学校出身のバリトン歌手と弦楽五重奏による演奏会を、今年3年目の同財団主催事業「東京ネットワーク計画」では2台ピアノコンサートを実施しました。いずれも今後のクラシック界をけん引する若手演奏家たちによる極めて質の高い演奏を提供しました。寄席事業では若手による「すたじお寄席」、落語立川流から真打昇進した立川吉笑ほかによる「ホール寄席」、また人気の「こども寄席・中高生寄席」で伝統芸能の継承につとめました。

2008年から継続している「ランチタイムコンサート&ステージ・クリスマスコンサート」は近隣の高齢者を中心に毎回満席となる人気事業で、無料で生の演奏に触れる場となっています。

#### (ウ) その他

実行委員会の運営による「くにたち音楽祭」「吹奏楽フェスティバル」「わくわくこどもフェスタ」はいずれも継続実施しており、実行委員会に参画する各団体の自主的な活動を推進しています。「ギャラリーネットワーク連携事業」は時期にかなったテーマの美術講座を今年も実施しました。

### イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

2025年度のF S Xホールの施設利用件数及び利用料収入総額については、前年度と比べて利用件数で約4.4%増の1,427件、利用料収入額は約15.9%減の16,450,120円となりました。利用件数増の要因として考えられるのは、スタジオと音楽練習室の利用件数が増えていることにあります。音楽教室等の生徒数減少によりホール利用からスタジオに会場を移し、さらに全日押さえる傾向がみられることがあります。利用料減は、ホール舞台面修繕工事で4・5月閉鎖したこと、それに伴い控室として利用するケースが増えているアトリエ、ギャラリーの利用が減ったことが考えられます。

築39年を経て施設内の様々な不具合には順次国立市との協議を行いつつ対応しています。現在ホールおよびスタジオのピアノ老朽化が著しく、その「寿命」は予断を許さない状況となっています。自主・共催事業、貸館事業ともにピアノ利用の頻度が高く、「ホール」として存続するための重要な備品として、再認識されることを求めています。

## 2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業（定款第4条第2号）（くにたち郷土文化館）

○館内利用者数 19,445人（目標数25,000人）

郷土文化館では、自主事業38、共催事業2の合計40事業を実施しました。

事業内容は、常設展示事業2、企画展示事業6、資料収集・調査・研究事業7、講座事業9、市民が参加及び体験する事業としては、郷土の伝統文化を学び体験する事業12、郷土の自然環境を学び体験する事業3となっています。

### ア. 郷土文化館事業

#### (ア) 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保管、調査研究、教育支援のための事業

##### ①展示事業

ミニ展示として、季節の飾り付け「端午の節句」を館内設置するのに合わせ、国立市広報から当館に移管された「広報移管写真紹介」を特別展示室前にて開催しました。2026年に国立駅開業100周年を迎えることから、国立駅開設と一体的に整備された駅前広場について、円形公園の成り立ちなどを中心とした造成経緯等を「円形公園はじまり物語」として旧国立駅舎にてパネル展示しました。国立市に在住していた考古学者・甲野勇氏が行った発掘調査について、館蔵資料の中から「1946年の大湯環状列石の調査日誌」を中心に関連資料を紹介しました。秋季企画展「写真にみる本田家」では、名主、村長、村医者や文化人として地域に貢献されてきた本田家について

て、国立市に寄贈された本田家写真資料を中心に紹介し、本田家および地域史を振り返る展示としました。秋季企画展の開催にあわせて、旧国立駅舎で「旧国立駅舎でみる本田家に遺された写真たち」を展示しました。冬季企画展として、公私立小学校の3年生を対象とした民具案内と連動した企画展「むかしのくらし展」を開催しました。以上計6回の展示事業を実施して延べ約27,000人の観覧者がありました。

## ②講座事業

史講座「-襖の下張り文書から-小金井小次郎の生存戦略」では、国立市の旧家より寄贈された襖の下張り文書から、小金井小次郎に関する古文書を読み、事績を資料と照らし合わせて読み解く講演会を実施しました。春季企画展関連講演会「多摩の自由民権運動と本田家」では、多摩地域で自由民権運動に関わった本田家13代当主本田定年の事績について、歴史的な事柄や関連する人物などを取り上げた講演会を行いました。講演会「甲野勇氏資料からみる昭和21年の大湯環状列石の発掘調査」では、国立市に在住していた考古学者甲野勇氏資料をより深く理解してもらい、関連情報をアウトプットすることを目的に開催しました。

## (イ) 市民が参加及び体験する事業

### ①郷土の伝統文化を学び体験する事業

季節毎の伝統行事など、市民が主体になり楽しむ事業を展開しました。市内の公私立小学校の3年生を対象にした恒例の民具案内は、2025年度も公立小学校8校、私立小学校3校の合計11校を対象に実施し、722人の児童生徒を迎えることができ、冬季企画展「むかしのくらし展」の見学と合わせ、郷土の歴史と民俗を体験的に知る機会としました。

### ②郷土の自然環境を学び体験する事業

市内NPOの協力をいただき、主に小学生を対象に、体験や観察を主体とした「くにたち自然クラブ」事業等を実施しました。

## イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

2025年度の郷土文化館の入館者数は19,445人で2024年度と比較して320人、1.7%の増となりました。また、2025年度の古民家の見学者数は10,158人で2024年度と比較して624人、6.5%の増となりました。郷土文化館は、マンホールカード配布が安定しており微増、古民家は、大きなイベントがなかったものの増となりました。

郷土文化館・古民家の施設・設備等の利用料収入は、2025年度は1,172,300円で2024年度と比べ47,300円、4.2%の増となっております。なお、市主催事業の減免措置については10.4%の増となっております。事業収入等の状況は、2025年度は714,570円で、2024年度と比べ99,900円、16.3%の増となっております。

## ウ. 市内遺跡整理調査業務受託事業（定款第4条第5号）

市内遺跡整理調査業務受託事業として、国立市から2024年度に実施された市内遺跡緊急調査の整理及び報告書の作成業務及び2025年度中に実施された緊急発掘調査に、次年度の資料整理調査に必要な知見を得るための発掘調査補助を受託し、実施しました。

## エ. 本田家旧蔵資料整理業務受託事業（定款第4条第5号）

本田家旧蔵資料整理業務受託事業として、国立市から2024年度より本田家旧蔵資料寄贈に伴う基礎調査で確認された約7万点にも及ぶ資料の整理、データベース化に伴う作業及びデータ化に必要な情報の整理作業を受託し、実施しました。

## 3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業（定款第4条第3号）

### （F S Xアリーナ）

○館内利用者数 175,822人（目標数198,000人）

### ア. スポーツ及びレクリエーション事業(定款第4条第3号)

F S Xアリーナでは、自主事業が18事業58回、共催事業が5事業8回で合計23事業66回を企画しました。

健康づくりのスポーツ事業では、スポーツを通じた健康増進や誰もがスポーツに親しむことができるよう、現在ある7つの事業の充実を図りました。

スポーツ及びレクリエーションの普及事業では、「みる」スポーツとして、プロスポーツ選手の生のプレーを味の素スタジアムで観戦し、スポーツの楽しさや喜びを味わえるよう事業を行いました。また、「する」スポーツとして、ゴルフ教室2事業を開催しました。

親と子どものスポーツ体験事業では、幼児期の子どもたちから運動やスポーツの機会を与えることは、発達段階において非常に重要であることから、親子で楽しめる事業として3事業開催しました。

小中学生スポーツ体験事業では、小中学生を対象に、長期休暇中に年3回F S Xアリーナの一部を無料開放し、スポーツを楽しんでもらいました。また、その他小学生を対象に4事業を開催しました。

共催事業では、国立市と共催で小学生初心者水泳教室、国立市スポーツ協会と共催でファミリーフェスティバル、くにたちウォーキング、スポーツ講演会、くにたちエールと共催で、小学生かけっこ教室を大変多くの参加者のもとそれぞれ開催しました。

屋外スポーツ施設の適正な維持管理では、屋外スポーツ施設として、野球場、サッカー場、テニスコートを貸し出し、利用者が安全に快適に利用していただくために、施設の適正な維持管理を行いました。年末年始（12月29日から1月3日）にはテニス、野球、サッカー場の無料開放を行い利用者の利便性向上、健康増進・体力向上を図りました。

また、流域下水道広場のテニスコートの人工芝を全面張り替えました。

関係機関との連携では、国立市スポーツ協会をはじめ、東京女子体育大学、一橋大学、くにたちエール等と連携を図りました。また、しょうがいしゃスポーツを推進・維持するために、東京都等が主催するしょうがいしゃスポーツ関連の講習会・セミナー等の会場を提供しました。

#### イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

F S Xアリーナ利用者数（南市民プラザトレーニング室を含む）は個人が110,139人（5,334人、5.1%の増）、団体が63,738人（1,428人、2.2%の減）でした。

F S Xアリーナの個人及び団体利用の利用料収入は35,519,890円で、2024年度と比べて1,824,275円、5.4%の増収でした。

2025年6月12日から9月11日まで1階事務室が空調設備工事のため2階に臨時事務室を設置しました。

2025年9月26日にプール槽から水漏れが発見されたため、9月26日から10月23日まで利用を中止しました。

有料公園施設等の利用状況は、3箇所あるテニスコートは、23,327時間、利用率は64.0%、3箇所の野球場は、6,942時間、利用率は51.2%、サッカー場は、1,649時間、利用率は、45.1%でした。利用料収入は、テニス、野球、サッカーの合計で、15,676,850円で、2024年度と比較して1,635,975円、9.4%の減収でした。

#### ウ. 学校開放受付業務受託事業（定款第4条第5号）

国立市立小・中学校（11校）の体育館と校庭の施設開放事業を国立市から受託して行いました。

#### エ. 特定保健指導における運動継続支援業務受託事業（定款第4条第5号）

国民健康保険が実施する特定保健指導における運動継続支援業務を国立市から受託し、40歳から65歳の市民を対象として健康増進に寄与しました。利用者数は延503人となり、2024年度と比べて54人、9.7%の減になりました。

### 4. 共通公益事業（総務課）

#### ア. 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）

市民団体等からの申請に基づき、助成選考委員会にて厳正な審査を行った結果、市民団体が実施している事業で、広く市民に公開している「塞ノ神どんど焼き」などの事業に助成しました。

- ・助成団体 5 団体
- ・助成金額 620,000円

#### イ. 財団広報紙「オアシス」の発行等事業（定款第4条第7号）

各館の事業を中心に、年6回隔月に財団広報紙「オアシス」を発行し、市内全世帯に配付するとともに、広く財団の事業内容などをお知らせするため、ホームページに掲載しました。

#### ウ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

総務課は各館の指定管理事業に関わる予算編成、予算執行管理等を適正に行いました。

## II. 収益事業等

### 1. 付帯サービス事業（定款第4条第2項）

#### ア. チケット販売事業

F S Xホールを借りて利用する団体等から受託し受託販売手数料を得て、音楽・演劇等のチケットを販売するサービスですが、受託団体はありませんでした。

#### イ. 飲料水等販売事業

① F S Xホール来館者への付帯サービスとして、飲料水等自動販売機を設置し、販売しました。

- ・2025年度の販売額 329,300円
- ・販売数 6,771本

② 郷土文化館来館者への付帯サービスとして、飲料水等自動販売機を設置し、販売しました。

- ・2025年度の販売額 79,266円
- ・販売数 1,735本

#### ウ. グッズ等販売事業

郷土文化館来館者への付帯サービスとして、従来から販売している手ぬぐい、バンダナ等に加え、やばわん関連商品を販売しました。

- ・2025年度の販売額 541,650円
- ・2025年度末棚卸額 1,300,578円

#### エ. 体育用品の販売事業

F S Xアリーナの施設利用者への付帯サービスとして、ピンポン球、バドミントンシャトル、水泳帽、ゴーグルのスポーツ用品を販売しました。

- ・2025年度の販売額 358,550円
- ・2025年度末棚卸額 124,090円

### 2. その他の事業

#### ア. 公益事業外の施設貸与事業

F S Xホール施設及びF S Xアリーナの施設利用について、国立市との協定に基づき、その他の施設貸与事業として学校等の卒業式等及びくにはたちの集い等への貸付を行いました。

## III. 管理（法人管理事業）

### 1. 役員及び役員会等に関する事業（定款第4条第7号）

理事会、監査、評議員会を、定款に基づき開催しました。

- ・理事会 6回
- ・評議員会 4回
- ・中間監査 1回、決算監査 1回

以上が、2025年度公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の事業の概要です。

今後の財団運営に当たっては、市民参加の事業展開を図り、効率的な経営を目指して、一層の努力をまいります。

## 事業の内訳

### 1. 自主・共催事業

(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）

〔F S Xホール〕（決算額 33,770,409円）

#### ア. 芸術環境創造事業

##### ① 教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

実施事業 通し番号	事業名	開催形態	実施日・期間
○ 1	演劇ワークショップ『おやこちゃれんじ』	自主	9月13日・20日
○ 2	富士見台ものがたりPart. II 「カラダ×F S Xホール」 ※参加説明会と稽古	自主	1月11日、2月8日・ 10日、3月3日・8日
3	誰もが楽しめるジャズコンサート ①「くにたちにニューオリンズの風が吹く」 ②「日本のトッププレイヤーを迎え、地域のプレイヤーと共に」	自主	①11月28日 ②2月28日
4	くにたちアートプロジェクト事業 Kunitachi Art Center 2025	共催	10月4日-19日

##### ② 学校教育との連携事業

5	【国立音大連携事業】 Deux Garcons 2台ピアノリサイタル～時を超えた邂逅	自主	8月23日
○ ● 6	地域創造「リージョナルシアター事業」	共催	①8月6日～9日 ②1月26日～29日

##### ③ 地域の芸術文化資源を活用した学び・体験事業

7	①一芸塾講師募集説明会 ②冬の市民一芸塾「くちぶえ講座」	自主	①12月23日 ②2月4・18、 3月4・18・25日
8	※中止 野外彫刻展受賞者個展	自主	—

#### イ. 芸術振興事業

##### ① 芸術文化の創造事業

○ ● 9	①ホール修繕リニューアル記念 「DRUMMING」 ②inc.セッション&公開リハール「作曲家権代敦彦氏を迎えて」 ③「三善晃へ捧ぐ」 ※無料コンサート1回、ワークショップ2回を含む ④「メタ・クセナキス」	共催	①6月1日 ②8月16日・17日 ③11月15日・16日 ④3月31日
○ ● 10	多和田葉子複数の私Vol.08 演劇公演「さくらの その にっぽん」	自主	11月2日・3日 (稽古) 10/13～11/1の間15回
○ 11	芸小ステージクリエイションシリーズ 小さな劇場『宇宙のヒト』	自主	8月3日
○ 12	チームアップ!オペラ ※	—	—

○こどもおすすめ事業

●新規事業

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 人(定員)
2024年度に続き、親子向けの演劇ワークショップ▶発表を行いました。たちかわ創造舎ディレクター・倉迫康史氏によるオリジナル作品台本による演劇を親子で体験し、親しんでもらうことを目的としました。	(参加) 大人500 小中学生1,000 (観覧) 中学生以上200 小学生以下無料	13
公募参加の市民による現代ダンス作品を創作し2026年9月の公演に向け稽古を開始しました。 F S Xホールに向き合う身体をテーマとします。アーツカウンシル東京助成事業。	参加費5,000 家族2人目は 2,500	39
教育委員会協力事業。しょうがいがある人や小さいこどもも参加できる、地域で音楽を気軽に楽しめる機会を提供しました。②は社会教育関連一課三館連携・公民館70周年記念事業としてホールで開催しました。	1,000	① 79 ②188
アーツカウンシル東京等との共催で「アートポイント計画」事業。「国立市文化芸術推進計画」の基本理念に沿って市内外の様々な主体が連携協働し、地域での芸術文化イベントを通じた人々の活動や交流促進する拠点づくりを進めました。	0	10,938

国立音楽大学の協力で、これからの音楽界を担う若手音楽家に発表の機会を与える育成支援事業。なお当初計画していた、音楽文化教育学科音楽療法専修課程との協働については、次年度に持ち越すこととしました。	一般3,000 学生1,000	80
ホールが地域とより関係性を深めていくため、演劇アウトリーチやワークショップを実施しました。ホール事業への参画が難しいとされるZ世代(中学生～30歳くらいまで)をターゲットに、3拠点とのアウトリーチ、ワークショップ2回を行いました。	0	122

①講師希望者を対象に、事業説明を行いました。 ②口笛世界大会主催者による講座。	2,000	73
くにたちアートビエンナーレ野外彫刻展で受賞した作家の作品を展示する個展を開催予定でしたが、作家の都合により行いませんでした。	—	—

【一部入場無料】世界的打楽器奏者の加藤訓子氏と氏主宰による若手演奏家育成プロジェクトメンバーによる演奏会およびワークショップを実施。現代音楽への取組み、若手の育成を柱のひとつと捉え、最先端の演奏から地域対象の無料ワークショップまで幅広い内容を提供しました。	無料～ 4,000円	459
公募市民出演による、多和田氏戯曲の演劇公演。芸術文化振興基金助成。	一般3,000 学生1,000	223
芸小創作の小さな劇場シリーズ3部作完結編の再演。未就学児および市内在住・在学の小学生は無料としました。	500	51
東京文化会館主催事業に対する協力事業。当館施設で練習するにあたり、貸館として施設利用料等をお支払いのうえご利用いただきました。	—	—

② 芸術文化の継承・普及事業

実施事業 通し番号	報		
	事業名	開催形態	実施日・期間
13	フレッシュ名曲コンサート（室内楽） 「弦楽五重奏とバリトンで紡ぐ～モーツァルトが描いた男たち」	共催	10月26日
14	東京ネットワーク計画「東京音楽コンクール入賞者による2台ピアノ・コンサート」	共催	1月26日
15	ホール寄席「立川吉笑真打昇進記念落語会」	自主	12月13日
○ 16	こども寄席・中高生寄席	自主	7月22日・23日
○ 17	鼓童 こども向け公演（2回公演）	共催	7月26日
18	くにたち市民オーケストラ ニューイヤーコンサート2026	自主	1月18日
● —	島田隼ピアノリサイタル ～ショパン国際ピアノコンクールを経て～	自主	1月9日・10日
19	※中止 復活！芸小シネマ	自主	—

③ 芸術文化の交流・支援事業

20	スタジオコンサート ①vol.113「アンサンブル・トワソン 初夏の饗宴」 ②(共催)スペインの太陽と風 Soluz ③vol.114「むすぶ声 はざまの歌～谷川俊太郎をうたう」	自主	① 6月 4日 ② 8月30日 ③10月25日
21	くにたちすたじお寄席 58回、59回、60回	自主	58回 6月28日 59回 9月 7日 60回 3月 1日

④ 創客、利用拡大事業

○ 22	ランチタイムコンサート・ランチタイムステージ（8回） クリスマス（イブニング）コンサート（1回）	自主	6/18、7/16、8/20、 9/17、10/15、11/19、 12/17、1/21、2/18
23	ホールとグランドピアノのシェアプログラム	自主	6月24日・25日 9月29日・30日

ウ. その他

①自主事業、連携事業企画調査

24	スタッフ・ディベロップメント事業	自主	通年
25	その他事業（オアシス、助成等）	自主	通年

○こどもおすすめ事業

●新規事業

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 人(定員)
(公財)東京都歴史文化財団東京文化会館との共催。東京音楽コンクール入賞者等実力と名声を兼ね備えた若手演奏家によるリサイタル。地域住民が質の高い音楽に親しめる機会を提供しました。	一般2,000 学生1,000	168
(公財)東京都歴史文化財団 東京文化会館主催事業。これからのクラシック音楽界をリードする若い演奏家たちのコンサートを提供します。出演料の負担はなく、チケット販売額は東京文化会館の収入となります。	500	248
2025年6月真打昇進を果たした立川吉笑落語会。柳亭小痴楽、立川こしら、寒空はだか各師匠をゲストに迎えました。口上では吉笑さんへ向けたお祝いの言葉や真打昇進までの様々な出来事が披露されました。	一般3,500 学生1,000	179
すたじお寄席出身の真打落語家による指導で、江戸情緒や昔の暮らしなどに受け継がれる芸を通して落語に親しみ、話芸の世界を体験する講座。小学生向けと、中高生向けの2講座を開催しました。	参加費 1,000 見学500	29
現代和太鼓アンサンブルの音楽を築いたリーディングカンパニー・鼓童の若手奏者による、こどもたちに向けた地域交流公演を行いました。チケット販売額の10%を当館収入とし、90%を共催者である鼓童の運営団体(株)北前船に支払いました。	大人2,000 子供1,000	393
毎年恒例で人気が高い、市民オケによる演奏会。新春にふさわしい楽曲で市民が気軽にオーケストラ演奏を楽しみました。	1,500	246
世界最高峰のピアノコンクールに出場した国立市出身のピアニストによる演奏会。追加公演も実施しました。	3,500	616
映画会を企画する予定でしたが、テーマが定まらずまたタイミングが合わず実施できませんでした。	—	—

70席のスタジオで様々なジャンルの音楽を身近に親しみやすく体験するコンサートを開催し鑑賞者開拓に努めました。vol.113はフルート・チェロ・ピアノアンサンブル、vol.114は没後1年の谷川俊太郎作詞作品を息子の賢作氏、カウンターテナーの中島俊晴氏により演奏。②は共催として実施しました。	2,000	①47 ②69 ②67
真打ち昇進を目指す若手落語家の話芸を聴き、若手の成長を応援する定例落語会を開催しました。毎回ゲストに旧レギュラーメンバーが登場し、芸小ならではの落語会としました。	1,500	58回 65 59回 65 60回 65

【入場無料】公募し選出された出演者(プロ・アマ問わず)が毎回1~2組出演しました。さまざまなジャンルの音楽を中心に実施しました。	0	685
ホール利用の予約が少ない平日に、ホールとコンサートグランドピアノの利用を1時間単位で分かち合う利用体験事業を、利用促進事業として実施しました。	0	39

職員が、接遇、企画力、コーディネート力の育成を図る目的で、講座・研修事業へ参加しました。	0	—
助成金交付事業、財団広報誌オアシス等の宣伝業務、芸術文化情報の発信事業を行いました。	0	—

②実行委員会参画事業

実施事業 通し番号	報		
	事業名	開催形態	実施日・期間
○ 26	第48回 くになち音楽祭	共催	6月8日
○ 27	第31回 国立市吹奏楽フェスティバル	共催	9月28日
28	ギャラリーネットワーク連携事業 美術講座 「印象派の殿堂・オルセー美術館（パリ）へのご招待」	共催	10月8日・15日 ・22日
○ 29	わくわくこどもフェスタ	共催	2月15日

○こどもおすすめ事業

●新規事業

告	入場料等 (円)	入場者数 人(定員)
事業内容及び説明		
【入場無料】参加団体で実行委員会を組織して運営し、市内で活動する様々な音楽団体による、合同発表公演を開催しました。市内20団体が参加しました。 共催：くにたち音楽祭実行委員会	0	1,267
【入場無料】参加団体で実行委員会を組織して運営し、主に中高の吹奏楽団体による合同発表公演を開催しました。共催：国立市吹奏楽フェスティバル実行委員会	0	1,129
【入場無料】市内で営業している画廊の連絡協議団体が、市民向け公益事業を美術講座3回連続シリーズとして開催しました。共催：ギャラリーネットワーク	0	193
【入場無料】日用品楽器コンサート、工作ワークショップ、絵本を楽しめるひろばなど子どもたちとおとなが一緒に楽しめる様々なイベントを実施しました。 共催：わくわくこどもフェスタ実行委員会	0	760

(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業（定款第4条第2号）

〔郷土文化館〕（決算額 31,599,682円）

ア. 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保管、展示、普及のための事業

①展示事業

・常設展示

実施事業 通し番号	事業名	報	
		自主・共催	実施日・期間
○ 1	くにたち郷土文化館 常設展示	自 主	通 年
○ 2	ハケと生きもの展示	自 主	通 年

・企画展示

● 3	Mini展示 「広報移管写真紹介」	自 主	4月19日～5月21日
● 4	旧国立駅舎内展示 「円形公園はじまり物語」	自 主	7月18日～24日
● 5	ミニ展示 「甲野勇と秋田のストーンサークル」	自 主	8月9日～31日
● 6	秋季企画展 「写真にみる本田家」	自 主	9月20日～11月9日
● 7	秋季企画展関連パネル展示 「旧国立駅舎でみる 本田家に遺された写真たち」	自 主	9月26日～10月2日
○ 8	冬季企画展 「むかしのくらし展」	自 主	1月10日～3月12日
● 9	企画展示準備に係る調査研究および購入	自 主	通 年

②資料収集・調査・研究事業

10	資料活用及び保存に伴う調査・研究・修復事業	自 主	通 年
11	地域資料の整理	自 主	通 年
12	収蔵資料の整理	自 主	通 年
13	資料のデジタル化事業	自 主	通 年
14	図書等の資料整理	自 主	通 年
15	地域資料等の購入・収集及び調査・研究事業	自 主	通 年
16	調査・研究等の書籍刊行事業	自 主	通 年

○子どもおすすめ事業

●新規事業

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
「多摩川が育んだ段丘（ハケ）とともに生きる私たち」をテーマとした常設展示を行いました。	—	延 19,445
ハケ下の水路や府中用水の生きものを廊下水槽にて展示しました。	—	延 19,445

季節の飾り付け「鯉のぼり・五月人形飾り」に合わせ、五月人形等の飾り付けを特別展示室前に展開させ、その前の廊下部分を利用して写真展を開催しました。展示写真は、2024年度に当館HPで「シリーズ 写真に探る高度経済成長期とくにたち」として掲出したものを使用しました。	—	延 1,245
駅前広場の中心部にある現在の円形公園は、国立駅開設にともなう広場空間の整備のひとつとして設けられたものです。そこには駅開設後間もなく「水禽舎」が設置され、国立を訪れる人々が集う人気スポットともなっていました。国立駅開設と一体的に整備された駅前広場に関し、円形公園の成り立ちなどを中心として、その造成経緯等を歴史資料に基づいて紹介し、駅前広場に市民らの関心が高まることを目的としてイベントを開催しました。	—	延 8,507
国立市に在住していた考古学者・甲野勇が行った発掘調査について、館蔵資料（甲野勇氏資料）の中から、「1946（昭和21）年の大湯環状列石の調査日誌」などを中心に関連資料を紹介しました。また、開催期間中に担当学芸員がゲストとともに、展示内容を解説しました。 ゲスト：小林克（秋田県埋蔵文化財センター元所長）	—	延 1,026
名主・医師・書家など様々な側面を持つ本田家について、写真資料を中心に展示するとともに、国立市域で活躍した本田家および旧蔵資料を総括的に取り上げ、市民が地域の文化財に親しむ機会としました。	—	延 2,918
秋季企画展「写真にみる本田家」の開催にあわせて、平成28（2016）年に国立市へ寄贈された本田家旧蔵資料の中から、主に国立市内の景色や建て物、行事の様子などが記録された写真を選びすぐって紹介しました。	—	延 9,496
昔の暮らしの中で使われてきた館所蔵の民具を展示し、昔の暮らしや道具についての知識を深める機会とした。生活の道具が時代と共に変化してきたことを重視し、生活と道具の関係を通して、現代の私たちの生活や、これからの生活について考えるきっかけを提供することを目指しました。	—	延 3,620
2026年度以降の企画展開催準備に際し、企画展テーマに関する調査・研究および展示準備に伴う資料および展示備品の購入を行いました。	—	—

将来の企画展示に向けての準備として、国立市に係る資料の収集及び調査・研究及び資料の修復を行いました。	—	—
新たに寄贈された資料（美術品、写真、民俗資料等）の整理を行いました。	—	—
収蔵庫の民具資料を再調査し、収蔵庫の整理を行い目録化を図りました。	—	—
館収蔵の紙資料や市役所広報担当移管写真等のデジタル化、情報入力促進を図り、一部をホームページ等で紹介しました。	—	—
中央図書館との検索システムをネットワーク化するためのデータベース作業等を行いました。	—	—
地域資料の購入を含めた収集活動及び地域史に関する調査・研究を行いました。	—	—
地域資料の調査成果を公開するため、年報第19号を刊行しました。	—	—

③講座事業（教育・普及事業）

実施事業 通し番号	報 業 名	自主・共催	実施日・期間
● 17	秋季企画展関連講演会 「多摩の自由民権運動と本田家」	自 主	10月26日
● 18	講演会 「甲野勇氏資料からみる 昭和21年の大湯環状列石の発掘調査」	自 主	1月17日
● 19	自然講座「くにたちの水辺と生きもの」	自 主	7月5日
● 20	歴史講座 「府中用水をあるこう—府中用水から根川—」	自 主	11月15日
● 21	歴史講座 「一襖の下張り文書から—小金井小次郎の生存戦略」	自 主	1月18日
● 22	くにたち郷土文化館×飛騨市民カレッジ 緊急コラボ企画『くにたちVSひだ〜見てみる！おれたちのくらし！！〜』	自 主	2月28日
○ 23	ガイドツアー	自 主	通 年
○ 24	学習支援事業	自 主	7月28日～8月13日 10月21日～23日
○ 25	むかしのくらし展関連イベント「蓄音機でレコードを聞いてみよう」	自 主	2月14日

イ. 市民が参加及び体験する事業

①郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

○ 26	国立市古民家の公開と展示事業	自 主	通 年
○ 27	小学生民具案内（全11校）	自 主	1月14日～3月8日
○ 28	伝統行事 こいのぼり・五月人形飾り	自 主	4月19日～5月6日
○ 29	伝統行事 七夕飾り	自 主	6月21日～7月7日
○ 30	わら細工教室 わらぞうり作り	自 主	6月29日
○ 31	古民家事業 十五夜だんご作り	自 主	9月14日

○こどもおすすめ事業

●新規事業

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
多摩地域で自由民権運動に関わった、本田家13代当主・本田定年の事績について、歴史的な事柄や関連する人物などを取り上げた講演会を行いました。 講師：松崎稔（町田市立自由民権資料館学芸員）	—	66
甲野勇氏資料について、多くの方々に甲野勇氏資料をより深く理解してもらい、ミニ展示「甲野勇と秋田のストーンサークル」開催のために調査した情報をアウトプットすることを目的としました。 講師：小林克（秋田県埋蔵文化財センター元所長）/爲國翠子（くにたち郷土文化館学芸員）	—	延 88
参加者が自然環境について学び、教養を深めるとともに、地域を知る楽しさを体感することを目的とし、矢川おんだしでのフィールドワークと座学を合わせて郷土文化館周辺の自然に生息する生き物の特徴や地域環境の変化に対する理解・関心を深めることを目指しました。 講師：西田一也（東京都環境科学研究所）	300	11
国立市の歴史を多方面より深く学び、教養を深めるとともに地域のことを知る楽しさを体感することを目的とし、座学とフィールドワークから、江戸時代の谷保村と多摩川と用水の関わりを学びました。 講師：小坂克信（立川市文化財保護審議委員）	300	19
国立市の旧家より寄贈された襖の下張文書から、小金井村の侠客・小金井小次郎に関する古文書を読み、小説などにも描かれた小金井小次郎の事績を実際の史料と照らし合わせて読み解きました。 講師：原祥（山梨郷土研究会会員）	300	21
むかしのくらし展」と連動し、国立市と岐阜県飛騨市に伝わる民具を紹介・比較することで、地域文化への興味関心を高め、社会教育施設との連携強化を図り、相互の文化資源の発信力向上に寄与することを目指しました。	—	36
来館者に向けて展示解説や散策ガイドなどを行いました。	—	—
大学における学芸員養成教育の最終段階に行われている博物館実習（館外実習）の実習生受け入れや、国立市内中学校の生徒を対象とした職場体験など、学校教育の支援を行いました。	—	6 2
郷土文化館に収蔵されている蓄音機を使って、SPレコードを鑑賞しました。	—	19

国立市有形民俗文化財の復元民家旧柳澤家を一般に公開するとともに、農具等の資料を展示しました。	—	延 10,158
市内公私立小学校全11校3年生を対象に当館収蔵の民具資料を使い、昔の暮らしを体験してもらいました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	—	延 788
伝統行事の一環として、端午の節句を中心に、収蔵資料の五月人形を展示し、古民家隣地に鯉のぼりを掲揚しました。	—	延 1,648
郷土文化館、古民家、城山さとのいえて短冊に願いを書き、笹竹につるす行為を通して、年中行事に対する親近感を醸成し、その理解を深めました。	—	延 988
くにたちの暮らしを記録する会々員より提供された稲わらを使用し、わらぞうりを作ることで、谷保地域の伝統文化を体験しました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	600	延 14
秋の草花、収穫物、だんごを一緒に飾り、農作物の収穫に感謝する伝統行事について、十五夜だんごの作成体験を古民家で行いました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	300	13

実施事業 通し番号	事業名	報	
		自主・共催	実施日・期間
32	干支の折り紙教室「午」	自 主	12月7日
○ 33	わら細工教室 しめ縄飾り作り	自 主	12月21日
○ 34	古民家事業 まゆ玉飾り作り	自 主	1月11日
○ 35	古民家事業 節分・豆まき	自 主	2月3日
○ 36	伝統行事 ひな人形飾り	自 主	2月20日～3月11日
○ 37	古民家事業 ひしもち作り	自 主	2月22日

②郷土の自然環境を学び体験する事業

○ 38	くにたち自然クラブ（全7回）	共 催	6月11日～12月14日
○ 39	天体観測 冬の星空ウォッチング（全3回）	自 主	11月28日 12月13日 1月24日
○ 40	自然観察会 冬の生き物探し	共 催	2月11日

○こどもおすすめ事業

●新規事業

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
和紙で2026年の干支「午」を制作することにより、日本の伝統文化「折り紙」の体験を行いました。 講師：川島操（折り紙インストラクター）	1,000	15
くにたちの暮らしを記録する会々員より提供された稲わらを使用し、正月用のしめ縄飾りを作ることで、谷保地域の伝統文化を体験しました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	800	27
養蚕の豊作を祈願し行われていた、「まゆ玉飾り」を作る体験を古民家で行いました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	300	14
豆をまき邪気を払い、福を招くことで、新しい一年に災いが無いようにと、昔ながらの節分行事を体験しました。	—	50
豪華な7段飾りの雛人形を展示し、郷土文化館や古民家を訪れる人達に日本の風習や工芸の美しさを味わってもらいました。	—	延 2,253
ひなまつり（桃の節句）のひな人形のお飾り「ひしもち」を、古民家でもち米からひし形に切り、飾り付ける一連の過程を体験してもらいました。 指導：くにたちの暮らしを記録する会	600	17

国立市内小学生2～6年生を対象に、生きものや自然の観察など様々な体験を通して、自然の大切さを学びました。 共催：NPO法人国立市動物調査会	通年参加費 2,000	延 163
郷土文化館武蔵野庭園にて、大型天体望遠鏡を使用し、国立から見える宇宙を観察し、専門家より講話と解説を頂きました。 講師：伊東昌市（元国立天文台）	—	延 187
自然クラブ卒業生を対象としたジュニアリーダー育成講座で、冬季の昆虫など自然の観察方法を学びました。 共催：NPO法人国立市動物調査会	100	27

(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)

[F S Xアリーナ] (決算額 26,685,611円)

①健康づくりのスポーツ事業

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
1	やさしいヨガ ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)	自 主	5月 7日～ 6月25日 9月 3日～10月22日 11月 5日～12月24日 1月21日～ 3月18日
2	初めての気功と健康太極拳 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間) ⑤ (8日間)	自 主	4月 8日～ 6月10日 6月17日～ 8月 5日 8月26日～10月21日 11月 4日～12月23日 1月20日～ 3月10日
3	太極拳24式・48式 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間) ⑤ (8日間)	自 主	4月 8日～ 6月10日 6月17日～ 8月 5日 8月26日～10月21日 11月 4日～12月23日 1月20日～ 3月10日
4	水中リズムウォーキング ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)	自 主	4月30日～ 6月18日 9月 3日～ 9月24日 11月 5日～12月24日 1月14日～ 3月11日
5	骨盤調整&エアロビクス ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)	自 主	4月 5日～ 5月31日 6月 7日～ 7月26日 11月 1日～12月20日 1月17日～ 3月 7日
6	楽しいフラダンス ① (6日間) ② (6日間) ③ (6日間)	自 主	4月17日～ 6月19日 10月 2日～12月 4日 1月15日～ 3月19日
7	インターバル速歩 12回	自 主	4月～3月の毎月 第一金曜日

②スポーツ及びレクリエーションの普及事業

8	初心者ゴルフ教室 (12日間)	自 主	4月 8日～ 7月 8日
9	レベルアップゴルフ① (12日間) レベルアップゴルフ② (6日間)	自 主	9月 2日～11月25日 2月 3日～ 3月13日
10	国立プロスポーツ観戦DAY	自 主	8月24日

③親と子供のスポーツ体験事業

○ 11	親子体操教室 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間)	自 主	5月 9日～ 6月27日 9月12日～10月31日 1月 9日～ 2月27日
○ 12	親子野球教室 ① (1日) ② (1日)	自 主	10月18日 3月 7日
○ 13	親子スイミング教室 ① (6日間) ② (6日間) ③ (6日間)	自 主	5月12日～ 6月16日 11月10日～12月22日 2月 2日～ 3月16日

○こどもおすすめ事業

告 事業内容及び説明	参加費等 (円)	参加者数 (人)
ヨガの基本的な動作をわかりやすく取り入れ、身体をリラックスさせて心身のリフレッシュと健康増進を目指した事業を実施しました。	6,000	651
	6,000	651
	6,000	650
	6,000	643
初心者向けの13勢基本法の太極拳にゆっくりとした呼吸法を取り入れ、足腰を鍛錬し、健康増進を目指した事業を実施しました。	6,000	542
	6,000	450
	6,000	435
	6,000	431
	6,000	521
中国武術の一派をもとに制定された健康法として、中国政府が編纂・制定した太極拳を学び、健康増進を目指した事業を実施しました。	6,000	465
	6,000	455
	6,000	472
	6,000	442
	6,000	429
水中を歩いたりストレッチ、ダンス等を行うことにより、浮力を利用し身体全体を動かすなど、健康増進を目指した事業を実施しました。 ※②の開催は、プール槽から水漏れが発見されたため、4回のみで開催となりました。	6,000	438
	6,000	207
	6,000	402
	6,000	427
音楽のリズムに合わせた有酸素運動に加えて、骨盤を調整するストレッチを取り入れ、健康な身体作りを目指した事業を実施しました。	6,000	280
	6,000	216
	6,000	208
	6,000	229
音楽に合わせてバランスを取りながら、優雅に全身を動かすことにより健康増進を目指した事業を実施しました。	6,000	160
	6,000	197
	6,000	204
「さっさか歩き」と「ゆっくり歩き」を交互に繰り返すウォーキング法の講習会です。毎月第1金曜日に開催しました。	6,000	137

ゴルフの基本的な技術指導を行い、ゴルフの楽しさや技術とルールを学ぶため事業を実施しました。	20,000	420
ゴルフの応用的な技術指導とルールを学ぶとともに参加者がレベルアップする事業を実施しました。	20,000	450
	10,000	238
プロスポーツ選手のプレーをスタジアムで観戦し、スポーツの普及・振興を図りました。	無 料	296組 592

親子で一緒に運動することにより動く楽しさを知るとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。	5,000	63組	126
	5,000	79組	158
	5,000	84組	168
幼稚園の年中から小学2年生までを対象に、プロの指導員により野球を基礎から学ぶ場を提供することにより、運動の楽しさを知ってもらうために事業を実施しました。	無 料	51組	102
		54組	108
親子で水に慣れるとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。	4,000	95組	195
	4,000	117組	245
	4,000	79組	169

④小中学生スポーツ体験事業

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
○ 14	小中学生無料開放 (夏休み1回) (冬休み1回) (春休み1回)	自 主	7月23日 1月 7日 3月30日
○ 15	小学生バドミントン教室 ① (6日間) ② (6日間)	自 主	4月19日～ 5月31日 11月 1日～12月 6日
○ 16	初心者ミニバスケット教室 (1回 2日間)	自 主	7月31日～ 8月 1日
○ 17	サッカークリニック (1日間)	自 主	1月18日
○ 18	小学生夏休み水泳教室	自 主	7月28日～ 8月 1日 8月 4日～ 8月 8日

⑤共催事業

○ 19	第35回ファミリーフェスティバル	共 催	5月 5日
20	第35回くにたちウォーキング	共 催	10月13日
21	スポーツ講演会	共 催	2月14日
○ 22	小学生初心者水泳教室 (高学年、低学年)	共 催	5月 7日～ 5月30日 6月 4日～ 7月 2日
○ 23	小学生かけっこ教室 (8日間)	共 催	4月14日～ 6月 9日 9月 8日～11月17日 1月19日～ 3月16日

○こどもおすすめ事業

告 事業内容及び説明	参加費等 (円)	参加者数 (人)
小・中学生を対象に学校の長期休暇期間中、子ども同士や親子で卓球、バドミントン、水泳を楽しく体験し、ルールを学び、スポーツに親しむ事業を実施しました。各種目には指導者を配置しアドバイスをを行いました。	無 料	323 92 167
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サーブ・レシーブ・スマッシュなどバドミントンを基礎から学びました。	2,000	137 125
小学生の初心者を対象に、ミニバスケットのゴールでドリブルやシュートなどの基礎を学びました。	1,000	47
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サッカーの基礎や応用を学ぶ場を提供することにより楽しさを知るために事業を実施しました。	無 料	115
小学校で行っていた水泳教室は酷暑中止が多かったことから、会場をF S Xアリーナ室内プールに変え財団主催で行いました。	1,000	350 377

F S Xアリーナ及びその周辺にスポーツやゲームのコーナーを設け、子どもを中心に家族で楽しんでもらうイベントを開催しました。 共催：国立市スポーツ協会	無 料	8,053
今年はA：9.4km、S：12.0kmの2コースになりました。完歩賞を発行するなど楽しく参加できるようにするとともに、完走後に抽選会を開催し賞品を出しました。共催：国立市スポーツ協会 協賛：国立市、(株)ヤクルト本社中央研究所、F S X(株)、カリフォルニア・レーズン協会、(公社)国立市シルバー人材センター	大人 500 子供 200	431
スポーツに携わった関係者等による講演会を開催し、スポーツの普及を図りました。共催：国立市スポーツ協会	無 料	265
泳げない小学生を対象に、泳げるようになることを目的に実施しました。 共催：国立市	無 料	285 271
運動の基礎となる走力を身に着けることを目指しています。実施時期なども運動会の前など参加意欲がわくよう工夫しました。開催を年3回としました。 共催：くにたちエール		206 184 192

(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）

〔総務課〕（決算額 620,000円）

ア. 助成事業

実施事業 通し番号	報	
	事業名（団体名）	実施月日
1	第11回国立まと火 （国立まと火実行委員会）	7月20日
2	谷保天満宮獅子舞保存 （谷保天満宮獅子舞保存会）	9月27日・28日
3	市内で伐採されたヒマラヤ杉を生かす （くにたちさくら組in大学通り遊園）	2月22日・23日 3月1日
4	第49回塞の神どんど焼 （塞の神どんど焼き実行委員会）	1月12日
5	立川・国立・国分寺桜デジタルスタンプラリー2026 （国立市観光まちづくり協会）	3月20日 ～4月12日

(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等（定款第4条第7号）

〔総務課〕（決算額 6,539,247円）

実施事業 通し番号	報	
	事業名（団体名）	実施月日
1	財団広報誌「オアシス」の発行事業	4月、6月、8月 10月、12月、2月
2	財団ホームページの管理事業	随時

告 事業内容及び説明	助成金 (円)	入場者数等 (人)
国立市と児童交流を続けてきた北秋田郡合川町（現在北秋田市合川地区）で古くから行われてきた伝統行事の「まと火」を、国立市の夏のイベントとして実施しました。	200,000	1,000
国立市指定文化財「獅子舞」の保存と後継者の育成に寄与しました。	120,000	65
市内で伐採されたヒマヤラ杉を使って、旧国立駅舎東側でワークショップを開催し、子供たちが花台、表札、スプーンなどを作成しました。	50,000	150
あらかじめ集めた正月飾りを燃やしてまゆ玉をあぶり、食することで健康を祈念する地域の伝統行事を、絶やすことなく継続して実施しました。	150,000	2,500
立川観光コンベンション協会、こくぶんじ観光まちづくり協会と連携し、それぞれの桜の名所にデジタルスタンプを設定し、スタンプ獲得により回遊性を高め、地域の活性化を図りました。	100,000	未集計

告 事業内容及び説明	事業費 (円)	発行数 (部)
各館の事業を中心に年6回隔月に「オアシス」を発行し市内全世帯に配布しました。 発行部数 毎回約43,000部、4ページ5回、8ページ1回 発行形態 タブロイド判 全頁フルカラー 広告1枠（8センチ×6センチ） 広告収入4社14枠（360,000円）	4,994,608	261,910
ホームページを通して、事業内容等財団の情報を随時更新し、発信しました。	1,056,000	—

## (6) 総合評価

### (F S Xホール)

- ・利用者数および利用料収入が減少しました。ホールが舞台面・吊物修繕により2か月間利用不可であったことが主な要因と考えられます。一方、減免利用件数および利用料額は増額となっています。土日祝日の予約利用については、財団、市、一般利用が均等となるよう調整を行うこととしましたが、引き続き対応する必要があります。
- ・「芸術環境創造事業」では、従来どおり大学や市内の小学校、地域の芸術団体や個人との協働により事業を実施しました。より地域に根差した活動を目ざし、市内在住の講師による講座やホールが立地する地域の文化芸術を見出すための事業やアウトリーチを実施しました。
- ・「芸術振興事業」では、芸術文化の創造と継承・普及、交流・支援を図るための公演、ワークショップ等を実施しました。継続して開催してきた事業の振り返りやレギュラーあるいは既出演者とのこれまでの関係性を活かし、芸術振興に向けた協働を行いました。
- ・その他実行委員会参画事業においては、市民が中心となって運営する意義をそれぞれの委員会内で共有しながら、市民による文化芸術活動の活性化を促進しました。市民の自立した活動の定着と広がりにより引き続き取り組んでいきます。
- ・予算・職員数が限定される中、それぞれの事業の精度を高めつつ、目的や意義、実施効果などを見直し、バランスよく当館にふさわしい事業の検討が必要です。また外部助成金の獲得数を増やせるよう質の追求を行い、それに伴う専門性や新規性、創造性等の向上にも応えねばなりません。
- ・施設・設備の老朽化に対応し、市との協議連携も進めつつ修繕・工事を進めています。来館者・出演者が安全に気持ちよく利用でき、芸術文化の追求に品位を持って触れられる施設としての質を最低限保てるよう維持管理に一層留意していきます。

### (郷土文化館)

- ・国立で晩年まで過ごした縄文土器の型式編年の礎を築いた先史考古学者甲野勇氏。「甲野勇と秋田のストーンサークル」では、甲野氏らが発掘調査し、後に世界文化遺産に登録された大湯環状列石の調査活動資料を展示しました。秋田県埋蔵文化財センター元所長と当館学芸員のギャラリートークも実施し、地域間の連携も深めることが出来ました。今後も他地域との情報交流を進めたいと思います。
- ・秋季企画展「写真にみる本田家」は、本田家旧蔵資料内の写真や国立市内の写真に関連資料とあわせて紹介することにより、あらためて本田家および地域のあゆみを振り返る機会となりました。今後も継続的に本田家旧蔵資料の整理および調査を進め、新たな情報を紹介していきたいと考えております。
- ・むかしのくらし展ですが、今年度は、次年度春季企画展の準備のため、例年より狭いスペースで民具案内関連展示として実施しました。小学3年生の社会科の授業の内容に合わせている為、例年同様の内容部分が多くありますが、今年度は廊下スペースに、むかしの暮らしを表す写真を展示するコーナーを設け変化を付けました。町の変化については、さらに聞き取りや映像を残すなどして今後の展示が充実したものになるように努力していきたいと考えています。
- ・市内小学校3年生を対象とした民具案内は、毎年、くにたちの暮らしを記録する会の皆さんにご協力をいただいています。今年度も会の皆さんが、直に小学生に説明したり質問を受けたりとふれあい、繋ぎの場とすることが出来ました。天候にも恵まれ、全校来館して実施できました。
- ・郷土文化館は、SDGs 目標4「質の高い教育をみんなに、生涯学習の機会促進」を踏まえ、今後も資料収集・調査・研究事業、市民参加・体験事業、及び様々な企画展示及び企画事業を進めていきたいと考えています。

## (F S Xアリーナ)

- ・2025年4月1日からネーミングライツが導入され、くにたち市民総合体育館からF S Xアリーナという愛称で運営を開始しました。
- ・6月12日から9月11日まで1階事務室が空調設備工事のため2階に臨時事務室を設置した。
- ・9月26日にプール曹から水漏れが発見されたため、10月23日まで利用を中止しました。
- ・トレーニングルームを利用して誰でも気軽に参加できるリフレッシュ体操を行いました。
- ・リピーターの多い健康づくりのスポーツ事業7事業では、スポーツを通じた健康増進や誰もがスポーツに親しむことができるよう、事業の充実を図りました。
- ・スポーツ及びレクリエーションの普及事業では、「みる」スポーツとして、プロスポーツ選手の生のプレーを味の素スタジアムで観戦し、スポーツの楽しさや喜びを味わえるよう事業を行いました。定員200組400名に対し多くの応募があり、抽選で296組592名の方を無料でご招待しました。
- ・親と子どものスポーツ体験事業では、幼児期の子どもころから運動やスポーツの機会を与えることは、発達段階において非常に重要であることから、親子で楽しめる事業として、親子体操教室、親子野球教室、親子スイミング教室を開催しました。
- ・小学生夏休み水泳教室は、以前は小学校の屋外プールで夏休みに実施していましたが、雨や酷暑で中止になることが多かったことから、現在は財団主催で会場をF S Xアリーナに変え水泳教室を実施しております。毎年定員を超える申込があり、大変好評でした。
- ・小中学生を対象に、夏休み、冬休み、春休みの年3回F S Xアリーナの一部を無料開放し、スポーツを楽しんでもらいました。
- ・くにたちファミリーフェスティバルは、晴天に恵まれ多くの方が参加されました。スポーツやゲームなど21コーナーを設け、子どもたちを中心として家族と一緒に楽しんでもらいました。
- ・くにたちウォーキングは、10月13日のスポーツの日に開催しウォーキングを楽しみながら健康増進と体力向上に寄与しました。
- ・スポーツ講演会は、2026年2月14日に開催しました。ヘルスケア・アドバイザーの古田裕子氏を講師にお迎えし、「認知症予防と運動」と題し、健康長寿で楽しいくらしを送るために、実際に体を動かしながら、脳の健康を守るために運動は欠かせないことや適度な運動が認知機能の向上や認知症の予防になることなどについてお話をいただきました。当日は会場が満員となる265名の方が参加されました。
- ・小学生初心者水泳教室では、泳げない小学生を対象に、泳げるようになることを目的に実施しておりますが、毎年定員を超える申込があり、今年も大変好評でした。
- ・しょうがいしゃスポーツを推進・支援するため、東京都等が主催するしょうがいしゃスポーツ関連の講習会・セミナー等の会場を提供し連携を図りました。
- ・屋外スポーツ施設の適正な維持管理では、屋外スポーツ施設として、野球場、サッカー場、テニスコートを貸し出し、利用者が安全に快適に利用していただくために、施設の適正な維持管理を行いました。
- ・有料公園施設は、年末年始(12月29日から1月3日)にテニス、野球、サッカー場の無料開放を行い、利用者の利便性向上、健康増進・体力向上を図りました。
- ・流域処理場広場のテニスコートの人工芝を全面張り替えました。

## (総務課)

- ・広報紙「オアシス」発行事業については、市民により見やすくなることを心掛けて編集しました。オアシスは財団にとって非常に重要な広報媒体であるため、より親しみやすく、多くの市民に読んでいただけるよう、今後においても編集の創意工夫に努めていきます。ホームページについても、市民にわかりやすく、早急に情報提供できるよう改善を図っていきます。また、財団としての財源確保のため、オアシスへの広告掲載依頼等についても引き続き努力してまいります。

## 2. 指定管理事業

国立市との協定による施設の管理運営事業

### (1) F S Xホールの利用状況

#### (ア) 利用料収入

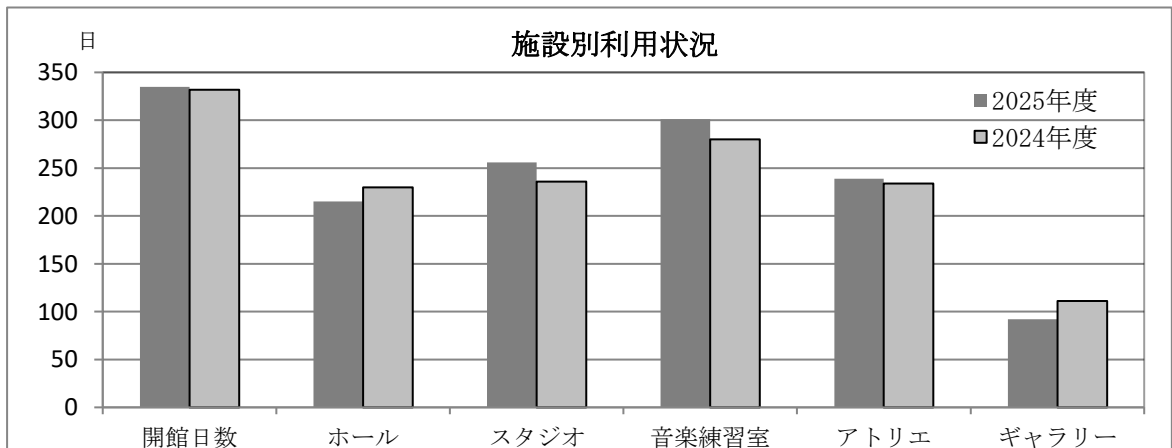
施設名	2025年度			2024年度			増減
	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	
ホール	6,006,810	5,705,000	11,711,810	7,352,910	7,166,450	14,519,360	-2,807,550
スタジオ	1,574,210	908,900	2,483,110	1,481,760	918,700	2,400,460	82,650
音楽練習室	1,370,400	189,900	1,560,300	1,498,700	143,400	1,642,100	-81,800
アトリエ	385,500	5,400	390,900	517,160	10,200	527,360	-136,460
ギャラリー	303,600	400	304,000	477,600	400	478,000	-174,000
合計	9,640,520	6,809,600	16,450,120	11,328,130	8,239,150	19,567,280	-3,117,160

#### ・減免利用料

2025年度減免利用料額			2024年度減免利用料額			差引増減額	単位：円
施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計		
7,938,400	4,837,900	12,776,300	304,400	501,300	805,700		

#### (イ) 施設別利用状況

年度	施設名	利用日数	利用率	利用件数	利用場所		利用者数
					市内	市外	
2025年度 開館日数 335日	ホール	215 日	71.7 %	257 件	240 件	17 件	25,000 人
	スタジオ	256	79.0	341	302	39	9,167
	音楽練習室	301	90.4	424	398	26	6,740
	アトリエ	239	71.3	295	290	5	3,216
	ギャラリー	92	27.9	92	89	3	2,395
	エントランス	18	6.0	18	18	0	1,381
	計			1,427	1,337	90	47,899
2024年度 開館日数 333日	ホール	230 日	79.3 %	277 件	241 件	36 件	30,324 人
	スタジオ	236	75.2	298	264	34	8,423
	音楽練習室	280	85.9	375	338	37	6,091
	アトリエ	234	71.3	289	286	3	2,765
	ギャラリー	111	34.4	111	108	3	3,827
	エントランス	17	5.1	17	17	0	1,647
	計			1,367	1,254	113	53,077



F S Xホール利用状況

<2025年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2025年 4月	0	0	0	16	13	6	20	19	8	15	6	3	0	0
2025年 5月	0	0	0	15	14	8	18	17	2	15	8	7	0	0
2025年 6月	16	19	13	16	18	12	21	25	21	19	11	9	11	1
2025年 7月	12	15	15	17	18	9	22	23	16	15	11	9	10	1
2025年 8月	21	23	18	21	23	20	18	18	14	18	14	13	9	3
2025年 9月	17	22	22	19	18	15	23	19	12	22	13	11	6	1
2025年 10月	21	25	25	22	19	13	24	21	11	22	18	13	12	1
2025年 11月	21	23	22	25	22	15	26	22	16	22	14	9	15	4
2025年 12月	16	14	11	18	15	7	23	16	5	16	9	2	10	1
2026年 1月	16	19	18	13	13	9	19	16	5	13	8	4	5	3
2026年 2月	16	17	13	16	16	13	21	20	9	14	8	7	5	2
2026年 3月	21	21	19	20	19	19	19	22	17	19	10	6	9	1
合 計	177	198	176	218	208	146	254	238	136	210	130	93	92	18

<2024年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
2024年 4月	14	16	14	16	14	7	21	19	7	14	8	4	8	
2024年 5月	12	14	10	19	17	5	16	13	4	14	7	4	3	2
2024年 6月	14	15	13	15	14	8	14	17	8	23	14	3	11	1
2024年 7月	21	20	17	20	23	15	21	21	13	20	14	10	9	1
2024年 8月	16	19	14	19	16	6	23	16	6	16	12	8	1	2
2024年 9月	14	16	12	17	14	6	18	19	13	23	22	18	4	2
2024年 10月	20	20	18	19	16	12	14	22	11	23	17	11	19	2
2024年 11月	20	19	20	20	21	15	19	20	18	21	15	11	23	1
2024年 12月	10	14	15	16	17	10	17	18	13	13	3	2	12	1
2025年 1月	14	17	16	11	10	5	20	16	6	15	5	1	8	2
2025年 2月	16	16	10	13	14	7	16	15	10	13	9	6	6	2
2025年 3月	22	21	18	20	21	15	20	19	10	17	11	8	7	1
合 計	193	207	177	205	197	111	219	215	119	212	137	86	111	17

(2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況

(ア) 施設・設備利用料収入

単位：円

年 度	利用料収入額			減免利用料		
	施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計
2025年度	1,044,300	128,000	1,172,300	1,215,000	11,500	1,226,500
2024年度	1,028,000	97,000	1,125,000	1,110,800	0	1,110,800
増(－)減	16,300	31,000	47,300	104,200	11,500	115,700

※研修室2での陶芸サークル利用が増えたので、若干増。

(イ) 施設別利用状況

単位：件

施設名	年 度	利用時間帯別利用件数（年間 335日）														
		午前			午後			夜間			全日			合計		
		有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
講 堂	2025年度	140	28	168	183	18	201	121	4	125	0	0	0	444	50	494
	2024年度	149	22	171	206	18	224	114	6	120	0	0	0	469	46	515
研修室1	2025年度	5	44	49	60	38	98	7	4	11	0	0	0	72	86	158
	2024年度	8	64	72	68	51	119	0	7	7	0	0	0	76	122	198
研修室2	2025年度	131	22	153	173	26	199	5	3	8	0	0	0	309	51	360
	2024年度	107	47	154	146	33	179	0	5	5	0	0	0	253	85	338
特別展示室	2025年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	143	143	0	143	143
	2024年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	120	120	0	120	120
合 計	2025年度	276	94	370	416	82	498	133	11	144	0	143	143	825	330	1,155
	2024年度	264	133	397	420	102	522	114	18	132	0	120	120	798	373	1,171

※研修室2での陶芸サークル利用が増えたので、若干増。

※講堂、研修室1は若干減っているが、ほぼ前年並み。

(ウ) 付属設備利用状況

単位：件

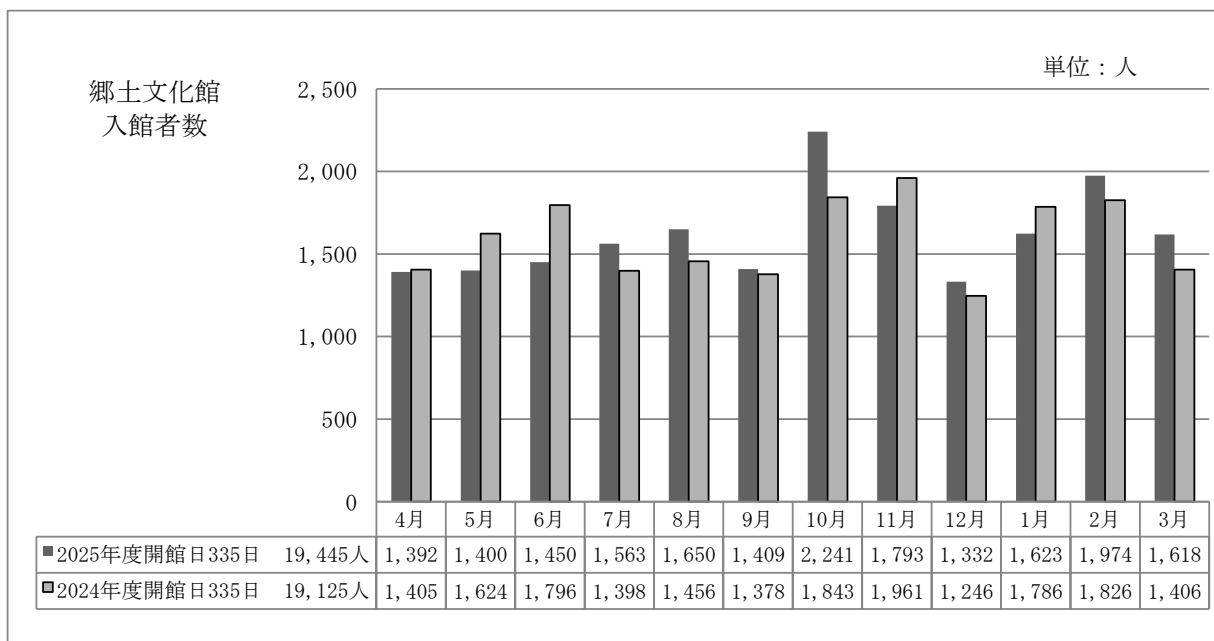
年 度	ビデオ映写装置			移動展示ケース			スライド映写機			16ミリ映写機			OHP			陶芸用電気釜			合 計		
	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
2025年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	2	24	22	2	24
2024年度	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	17	18	0	18

(エ) 事業収入等状況

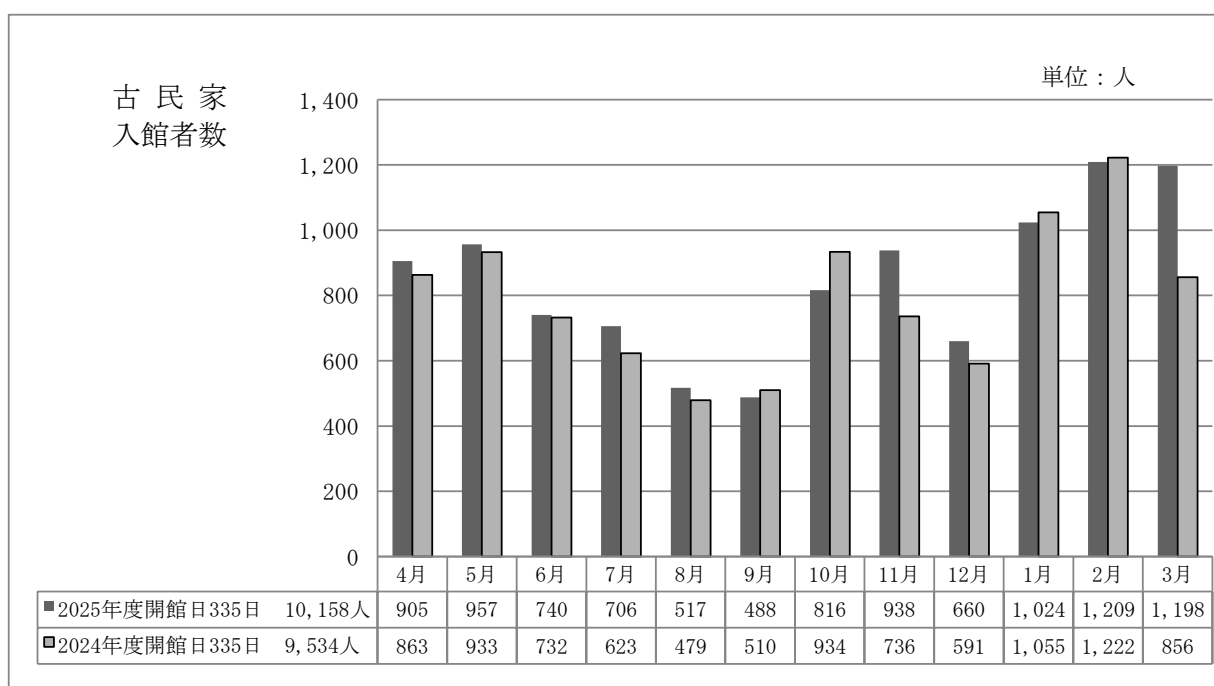
年 度	入館者（人）			事業収入等（円）					事業参加者（人）		
	郷土文化館	古民家	合 計	入場料	参加費	図録売上	その他	合 計	有 料	無 料	合 計
2025年度	19,445	10,158	29,603	0	137,100	552,700	24,770	714,570	539	32,913	33,452
2024年度	19,125	9,534	28,659	0	166,700	427,800	20,170	614,670	433	14,237	14,670
増(－)減	320	624	944	0	-29,600	124,900	4,600	99,900	106	18,676	18,782

※2023年1月からスタートしたマンホールカード配布は、全国区で集客に寄与

※2025年度は旧駅舎における展示が2件あったため大幅増



※2023年1月からスタートしたマンホールカード配布は、全国区で集客に寄与



※2024年度、2025年度とも大きなイベントは無かったが、2025年度は集客数が若干増

## (3) FSXアリーナの利用状況

(開館日数: 335 日)

## ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			減免利用料			
	個人	団体貸切	合計	減免	グリーンパス等	特保	合計
2025年度	25,594,750	8,782,800	34,377,550	959,500	6,516,100	155,300	7,630,900
2024年度	24,126,250	8,370,175	32,496,425	1,197,100	6,107,250	171,600	7,475,950
増減	1,468,500	412,625	1,881,125	-237,600	408,850	-16,300	154,950

## イ 個人利用の状況

単位:人

	第一、二、三体育室			室内プール			
	個人	グリーンパス等	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
2025年度	25,520	3,644	29,164	18,949	9,463	50	28,462
2024年度	24,412	3,814	28,226	17,947	9,184	63	27,194
増減	1,108	-170	938	1,002	279	-13	1,268

	トレーニング室				合計			
	個人	グリーンパス等	特保	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
2025年度	25,959	20,482	451	46,892	70,428	33,589	501	104,518
2024年度	24,577	18,476	481	43,534	66,936	31,474	544	98,954
増減	1,382	2,006	-30	3,358	3,492	2,115	-43	5,564

## ウ 団体貸切利用の状況

単位:(団体数)団体、(人数)人

	第一～三体育室		室内プール		会議室		ステージ
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数
2025年度	2,639	47,161	558	11,173	281	5,404	37
2024年度	2,383	45,990	494	12,457	383	6,719	33
増減	256	1,171	64	-1,284	-102	-1,315	4

単位:(団体数)団体、(人数)人

	合計	
	団体数	人数
2025年度	3,515	63,738
2024年度	3,293	65,166
増減	222	-1,428

総利用者数 単位:人

個人利用+団体貸切+保育室	
2025年度	170,201
2024年度	165,979
増(-)減	4,222

## エ その他 保育室利用状況

保育室	利用件数	人数
		604件

駐車場利用状況(届け出台数)

駐車場	利用台数	1日平均
		23,139台

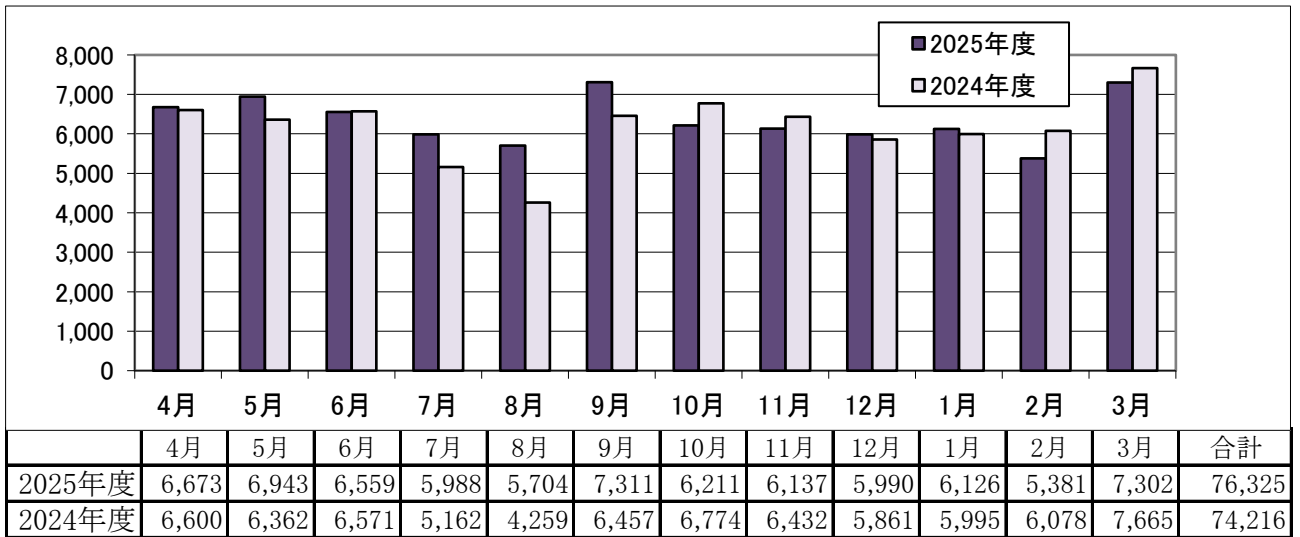
## オ くにたち南市民プラザ:トレーニング室利用状況

(開館日数: 206 日)

	個人利用料 収入額(円)	減免利用料(円)				利用人数(人)				
		グリーンパス	特保	無料券	合計	個人	グリーンパス	特保	無料券	合計
2025年度	1,142,340	471,300	600	27,900	499,800	2,384	3,142	2	93	5,621
2024年度	1,199,190	489,750	3,900	29,100	522,750	2,476	3,265	13	97	5,851
増減	-56,850	-18,450	-3,300	-1,200	-22,950	-92	-123	-11	-4	-230

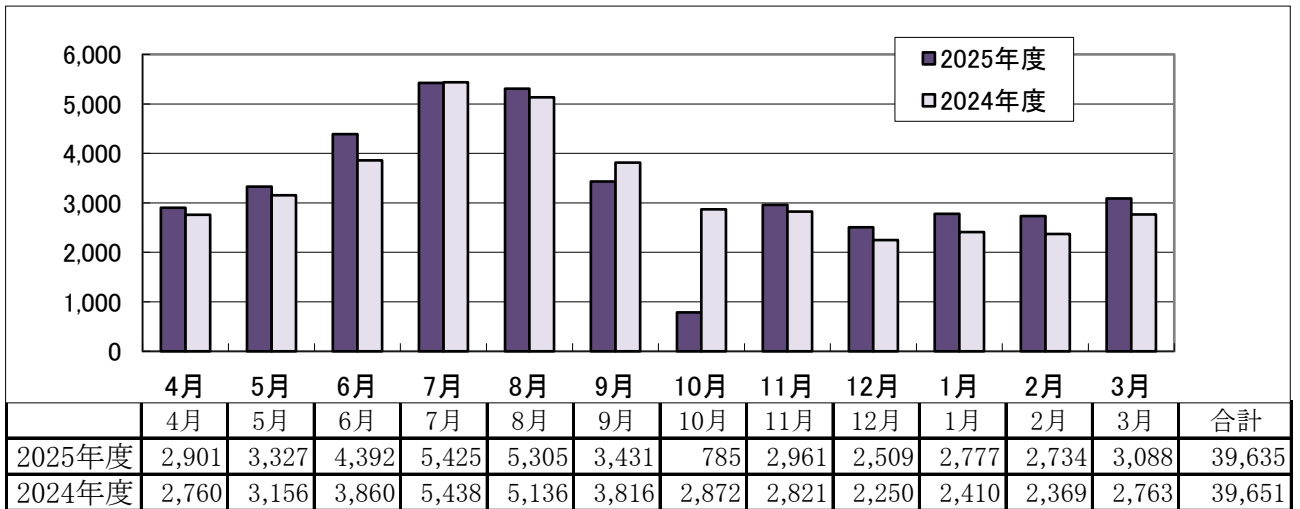
カ 第一、二、三体育室月別利用状況

単位:人



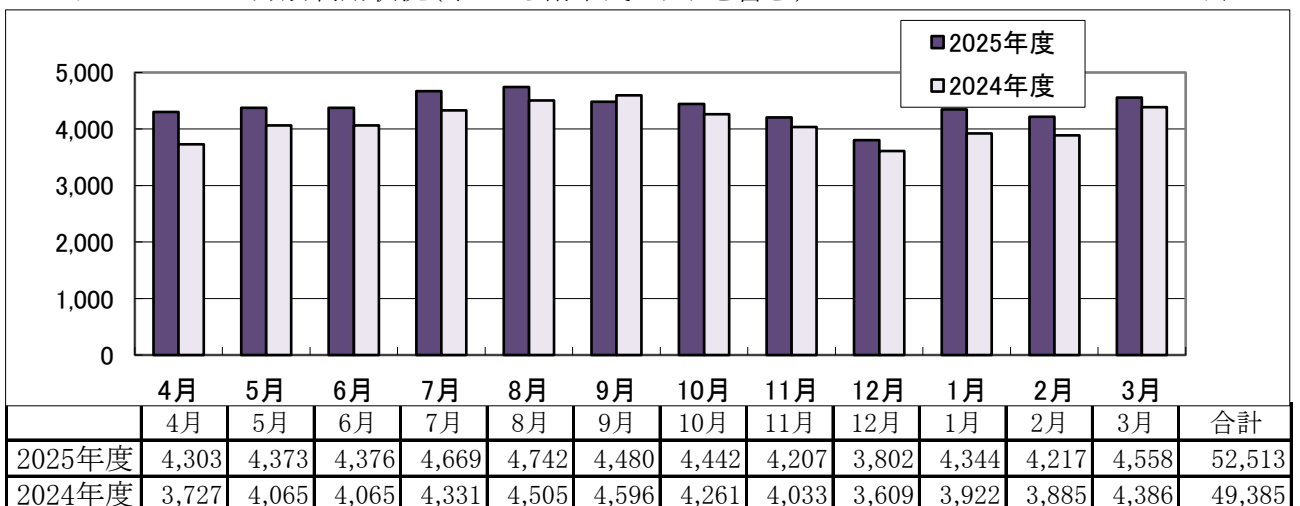
キ 室内プール月別利用状況

単位:人



ク トレーニング室月別利用状況(くにたち南市民プラザを含む)

単位:人



(4) 有料公園施設等の利用状況

ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			
	テニス	野球	サッカー	合計
2025年度	14,136,350	1,296,100	244,400	15,676,850
2024年度	15,710,900	1,336,725	265,200	17,312,825

減免利用料

単位:円

	減免利用額			
	テニス	野球	サッカー	合計
2025年度	586,800	2,703,350	590,850	3,881,000
2024年度	533,200	2,584,400	579,800	3,697,400

イ テニスコートの利用状況

単位:1面1時間

	テニスコート			
	谷保	矢川	広場	合計
2025年度	8,163	7,485	7,679	23,327
2024年度	8,112	7,506	9,657	25,275

テニスコートの利用率

単位:1面1時間

	テニスコート利用率			
	谷保	矢川	広場	平均
2025年度	74.59%	68.35%	49.16%	64.03%
2024年度	73.94%	68.50%	57.11%	66.52%

ウ 野球・サッカーの利用状況

単位:1面1時間

	野球場				サッカー	合計
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	小計		
2025年度	2,477	3,317	1,148	6,942	1,649	8,591
2024年度	2,472	3,214	1,359	7,045	1,665	8,710

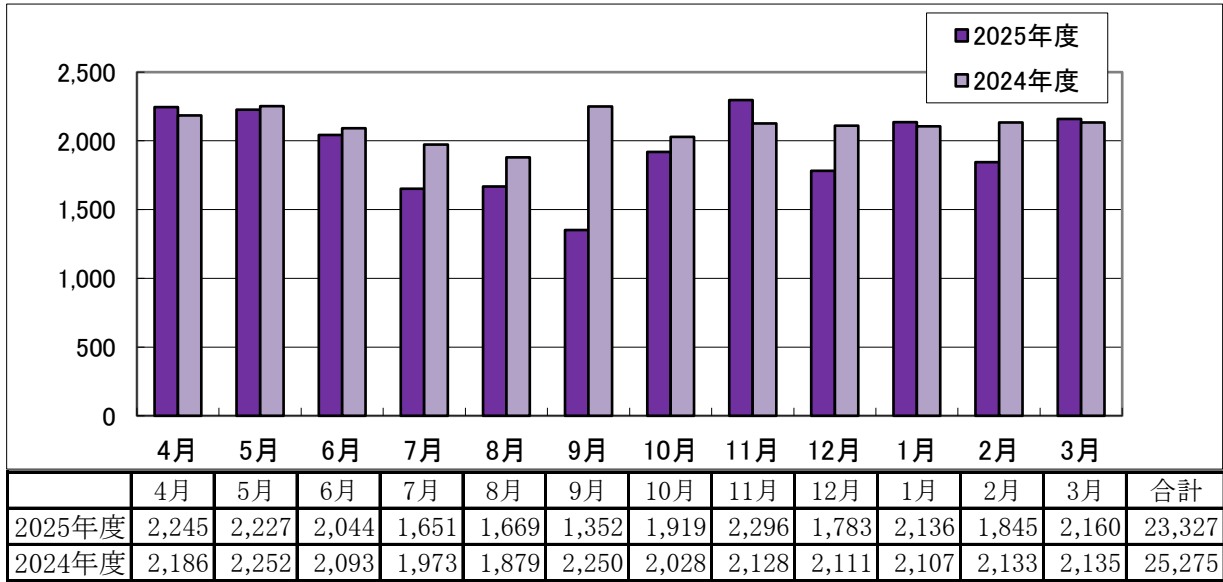
野球・サッカーの利用率

単位:1面1時間

	野球場利用率				サッカー場利用率	平均
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	平均		
2025年度	68.65%	45.80%	39.06%	51.17%	45.09%	49.65%
2024年度	67.65%	44.60%	46.56%	52.94%	45.53%	51.09%

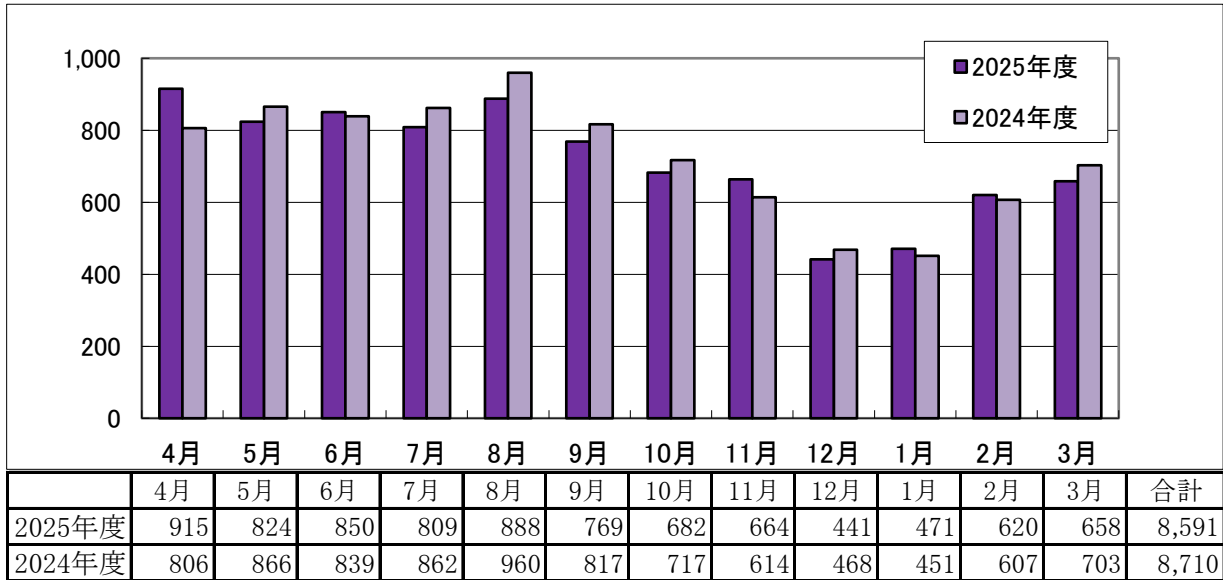
エ 谷保・矢川・広場テニスコート月別利用状況

単位：1面1時間



オ 野球・サッカー月別利用状況

単位：1面1時間



### 3. 管 理

#### (1) 役員及び役員会等に関する事業

##### ア. 理事、監事及び評議員等の名簿

(2026年3月31日現在)

##### (ア) 理事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
理事長	宮崎 宏一	2025年7月1日から2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	国立市副市長
常務理事	門倉 俊明	〃	常勤	公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団事務局長
理事	池田 良二	2025年5月30日から2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	武蔵野美術大学名誉教授
〃	梅本 実	〃	〃	国立音楽大学学長
〃	金子 一秀	〃	〃	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学学長
〃	近藤 佳子	〃	〃	国立の自然と文化を守る会副会長
〃	峰岸 秀征	〃	〃	国立市スポーツ協会会長
〃	川島 慶之	2025年10月24日から2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	〃	国立市教育委員会教育部長

##### (イ) 監事

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
監事	木村 淳二	2023年5月31日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	税理士
〃	佐藤 収一	〃	〃	会社会長

## (ウ)評議員

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
評議員	宇治 康	2023年5月31日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	たましん地域文化財団常務理事
〃	尾崎 良一	〃	〃	国立市スポーツ協会理事長
〃	笠間 信也	〃	〃	NPO国立市動物調査会理事
〃	佐伯 安子	〃	〃	くにたちの暮らしを記録する会 会長
〃	坂 なつこ	〃	〃	国立大学法人一橋大学大学院 社会学研究科教授
〃	塩野 啓子	〃	〃	塩野啓子バレエスタジオ代表
〃	松井 憲太郎	〃	〃	キラリ財団マネージャー
〃	和田 哲	〃	〃	国立市文化財保護審議会委員
〃	遠藤 泰典	2023年10月27日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	〃	国立三中OB吹奏楽団副団長

## イ. 理事会等の開催

## (ア)理事会

## a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
2025年5月15日	第1号議案 定時評議員会の招集案 第2号議案 2024年度事業報告案 第3号議案 2024年度決算案 第4号議案 理事候補者案	可決 可決 可決 可決
2025年5月30日	第5号議案 理事長候補者案及び常務理事候補者案	可決
2025年7月1日	第6号議案 臨時評議員会の招集案 第7号議案 理事候補者案 第8号議案 理事長候補者案及び常務理事候補者案	可決 可決 可決
2025年10月10日	第9号議案 臨時評議員会の招集案 第10号議案 理事候補者案	可決 可決
2026年2月13日	第11号議案 臨時評議員会の招集案 第12号議案 2026年度事業計画書案 第13号議案 2026年度収支予算書案と資金調達及び 設備投資の見込み 第14号議案 就業規程の一部改正案	可決 可決 可決 可決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2025年10月10日	協議事項① 2026年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2025年5月15日	報告事項① 運営組織及び事業活動の状況の概要等 報告事項② 寄附金等特定資産の運用の状況 報告事項③ 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正	
2025年10月10日	報告事項① 臨時職員取扱要綱の一部改正 報告事項② 理事長・常務理事の職務の執行状況	
2026年2月13日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況 報告事項② 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正	

(イ)評議員会

a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
2025年5月30日	第1号議案 2024年度決算案 第2号議案 理事候補者案	可決 可決
2025年7月1日	第3号議案 理事候補者案	可決
2025年10月24日	第4号議案 理事候補者案	可決
2026年2月25日	第5号議案 2026年度事業計画案 第6号議案 2026年度収支予算案と資金調達及び 設備投資の見込み	可決 可決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
2025年10月24日	協議事項① 2026年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
2025年5月30日	報告事項① 2024年度事業報告 報告事項② 運営組織及び事業活動の状況の概要等 報告事項③ 寄附金等特定資産の運用の状況 報告事項④ 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正	

2025年10月24日	報告事項① 臨時職員取扱要綱の一部改正 報告事項② 理事長・常務理事の職務の執行状況	
2026年2月25日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況 報告事項② 就業規程の一部改正 報告事項③ 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正	

(ウ)監査

開催年月日	監査事項
2025年5月7日 決算監査	2024年度決算書 2024年度事業報告書
2025年11月10日 中間監査	2025年度収支決算書(上半期分) 2025年度事業報告書(上半期分)



2025年度

# 決 算 書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

## < 目 次 >

1	貸借対照表	P 1
2	正味財産増減計算書	P 2
3	正味財産増減計算書会計別	P 4
4	正味財産増減計算書内訳表	P 6
5	財務諸表に対する注記	P 8
6	付属明細書	P 11
7	財産目録	P 12

# 貸借対照表

2026年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	63,073,605	57,404,511	5,669,094
現金	639,758	701,877	△ 62,119
普通預金	32,433,847	26,702,634	5,731,213
定期預金	30,000,000	30,000,000	0
未収金	230,158	199,904	30,254
前払金	162,430	164,650	△ 2,220
販売品	1,424,668	1,101,117	323,551
貯蔵品	42,857	37,716	5,141
流動資産合計	64,933,718	58,907,898	6,025,820
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	312,249,979	312,249,979	0
基本財産合計	312,249,979	312,249,979	0
(2) 特定資産			
退職手当給付引当資産	1,000,000	0	1,000,000
くにたちアートビエンナーレ特定資産	295,689	295,689	0
特定資産合計	1,295,689	295,689	1,000,000
(3) その他固定資産			
リース資産	40,630,652	18,518,610	22,112,042
その他固定資産合計	40,630,652	18,518,610	22,112,042
固定資産合計	354,176,320	331,064,278	23,112,042
資産合計	419,110,038	389,972,176	29,137,862
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	42,822,290	37,528,667	5,293,623
前受金	2,172,000	2,078,000	94,000
預り金	1,387,538	1,321,341	66,197
賞与引当金	7,019,000	6,447,000	572,000
流動負債合計	53,400,828	47,375,008	6,025,820
2. 固定負債			
リース債務	40,630,652	18,518,610	22,112,042
退職給付引当金	7,200,000	0	7,200,000
固定負債合計	47,830,652	18,518,610	29,312,042
負債合計	101,231,480	65,893,618	35,337,862
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	313,545,668	312,545,668	1,000,000
(うち基本財産への充当額)	312,249,979	312,249,979	0
(うち特定資産への充当額)	1,295,689	295,689	1,000,000
2. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	4,332,890	11,532,890	△ 7,200,000
一般正味財産合計	4,332,890	11,532,890	△ 7,200,000
正味財産合計	317,878,558	324,078,558	△ 6,200,000
負債及び正味財産合計	419,110,038	389,972,176	29,137,862

# 正味財産増減計算書

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	295,021	79,546	215,475
基本財産受取利息	295,021	79,546	215,475
定期預金受取利息	295,021	79,546	215,475
特定資産運用益	753	211	542
特定資産受取利息	753	211	542
定期預金受取利息	753	211	542
事業収益	413,894,755	402,345,512	11,549,243
自主・共催事業収益	18,197,695	15,106,751	3,090,944
国立市指定管理料収益	316,307,000	305,738,000	10,569,000
国立市受託料収益	8,898,160	8,450,235	447,925
利用料金収益	68,860,410	71,409,930	△ 2,549,520
広告料収益	316,000	440,000	△ 124,000
付帯サービス事業収益	1,315,490	1,200,596	114,894
受取補助金等	76,742,043	72,660,285	4,081,758
国立市補助金収益	75,772,000	68,302,000	7,470,000
国等助成金収入	966,183	4,354,425	△ 3,388,242
受取民間助成金	3,860	3,860	0
受取寄付金	30,000	30,000	0
受取寄付金	30,000	30,000	0
雑収益	609,383	407,407	201,976
受取利息	217,256	62,623	154,633
定期預金受取利息	77,232	21,782	55,450
普通預金受取利息	140,024	40,841	99,183
雑収入	392,127	344,784	47,343
経常収益計	491,571,955	475,522,961	16,048,994
(2) 経常費用			
事業費	470,215,216	464,745,116	5,470,100
報酬	55,365,172	47,882,068	7,483,104
給料手当	67,094,164	66,234,601	859,563
法定福利費	15,211,286	14,737,893	473,393
中退共掛金	1,800,000	1,725,000	75,000
臨時雇賃金	1,808,772	1,821,117	△ 12,345
福利厚生費	689,172	669,076	20,096
旅費交通費	2,364,613	3,958,285	△ 1,593,672
会議費	93,446	107,484	△ 14,038
通信運搬費	2,997,693	3,195,409	△ 197,716
消耗品費	10,054,751	9,758,944	295,807
印刷製本費	3,625,999	3,965,588	△ 339,589
修繕費	16,325,343	14,889,559	1,435,784
光熱水料費	58,182,873	62,645,832	△ 4,462,959
燃料費	86,124	172,024	△ 85,900
賃借料	6,280,530	10,654,451	△ 4,373,921
保険料	940,792	931,505	9,287
諸謝金	10,959,971	12,005,090	△ 1,045,119
手数料	2,196,452	2,028,498	167,954
租税公課	9,260,000	6,914,070	2,345,930
広告宣伝費	261,800	127,340	134,460
支払助成金	620,000	1,220,000	△ 600,000
委託料	181,849,018	182,642,207	△ 793,189
支払負担金	1,257,200	785,300	471,900
減価償却費	10,940,178	6,460,926	4,479,252
雑費	22,533	1,340	21,193
ソフトウェア関連	3,317,334	3,150,509	166,825
賞与引当金繰入	6,610,000	6,061,000	549,000

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	7,012,016	3,880,987	3,131,029
報酬	1,687,675	0	1,687,675
役員報酬	677,500	770,700	△ 93,200
給料手当	1,879,513	2,008,092	△ 128,579
法定福利費	331,846	307,579	24,267
旅費交通費	160,962	36,720	124,242
会議費	27,920	20,000	7,920
通信運搬費	30,690	3,950	26,740
消耗品費	41,630	37,132	4,498
諸謝金	54,450	31,350	23,100
手数料	7,190	8,180	△ 990
租税公課	12,463	3,832	8,631
支払負担金	144,000	144,000	0
委託料	112,994	123,452	△ 10,458
ソフトウェア関連	434,183	0	434,183
賞与引当金繰入	409,000	386,000	23,000
退職手当積立金	1,000,000	0	1,000,000
返還金	14,274,723	6,826,858	7,447,865
国立市補助金返還金	5,874,665	1,373,613	4,501,052
事業費補助金返還金	5,874,665	1,373,613	4,501,052
国立市指定管理料返還金	8,400,058	5,453,245	2,946,813
芸術小ホール指定管理料返還金	2,184,161	2,770,934	△ 586,773
総合体育館指定管理料返還金	6,031,530	2,671,801	3,359,729
有料公園指定管理料返還金	184,367	10,510	173,857
経常費用計	491,501,955	475,452,961	16,048,994
評価損益等調整前当期経常増減額	70,000	70,000	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	70,000	70,000	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
一般財産振替	△ 7,200,000	0	△ 7,200,000
経常外費用計	7,200,000	0	7,200,000
当期経常外増減額	△ 7,200,000	0	△ 7,200,000
税引前当期一般正味財産増減額	△ 7,130,000	70,000	△ 7,200,000
法人税等	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,200,000	0	△ 7,200,000
一般正味財産期首残高	11,532,890	11,532,890	0
一般正味財産期末残高	4,332,890	11,532,890	△ 7,200,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	1,000,000	0	1,000,000
指定正味財産期首残高	312,545,668	312,545,668	0
指定正味財産期末残高	313,545,668	312,545,668	1,000,000
III 正味財産期末残高	317,878,558	324,078,558	△ 6,200,000

# 正味財産増減計算書会計別

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的会計	収益事業等会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	225,000	0	70,021	295,021
基本財産受取利息	225,000	0	70,021	295,021
定期預金受取利息	225,000	0	70,021	295,021
特定資産運用益	753	0	0	753
特定資産受取利息	753	0	0	753
定期預金受取利息	753	0	0	753
事業収益	402,939,265	10,955,490	0	413,894,755
自主・共催事業収益	18,197,695	0	0	18,197,695
国立市指定管理料収益	308,837,000	7,470,000	0	316,307,000
国立市受託料収益	8,898,160	0	0	8,898,160
利用料金収益	66,690,410	2,170,000	0	68,860,410
広告料収益	316,000	0	0	316,000
付帯サービス事業収益	0	1,315,490	0	1,315,490
受取補助金等	69,733,123	0	7,008,920	76,742,043
国立市補助金収益	68,763,080	0	7,008,920	75,772,000
国等助成金収入	966,183	0	0	966,183
受取民間助成金	3,860	0	0	3,860
受取寄付金	30,000	0	0	30,000
受取寄付金	30,000	0	0	30,000
雑収益	556,531	49,777	3,075	609,383
受取利息	214,181	0	3,075	217,256
定期預金受取利息	77,232	0	0	77,232
普通預金受取利息	136,949	0	3,075	140,024
雑収入	342,350	49,777	0	392,127
経常収益計	473,484,672	11,005,267	7,082,016	491,571,955
(2) 経常費用				
事業費	459,209,949	11,005,267	0	470,215,216
報酬	53,966,172	1,399,000	0	55,365,172
給料手当	66,604,164	490,000	0	67,094,164
法定福利費	15,101,286	110,000	0	15,211,286
中退共掛金	1,800,000	0	0	1,800,000
臨時雇賃金	1,808,772	0	0	1,808,772
福利厚生費	689,172	0	0	689,172
旅費交通費	2,364,613	0	0	2,364,613
会議費	93,446	0	0	93,446
通信運搬費	2,997,693	0	0	2,997,693
消耗品費	9,300,201	754,550	0	10,054,751
印刷製本費	3,625,999	0	0	3,625,999
修繕費	15,995,343	330,000	0	16,325,343
光熱水料費	56,712,873	1,470,000	0	58,182,873
燃料費	86,124	0	0	86,124
賃借料	6,100,530	180,000	0	6,280,530
保険料	940,792	0	0	940,792
諸謝金	10,959,971	0	0	10,959,971
手数料	1,881,851	314,601	0	2,196,452
租税公課	9,095,000	165,000	0	9,260,000
広告宣伝費	261,800	0	0	261,800
支払助成金	620,000	0	0	620,000
委託料	176,056,902	5,792,116	0	181,849,018
支払負担金	1,257,200	0	0	1,257,200
減価償却費	10,940,178	0	0	10,940,178
雑費	22,533	0	0	22,533
ソフトウェア関連	3,317,334	0	0	3,317,334
賞与引当金繰入	6,610,000	0	0	6,610,000

(単位：円)

科 目	公益目的会計	収益事業等会計	法人会計	合計
管理費	0	0	7,012,016	7,012,016
報酬	0	0	1,687,675	1,687,675
役員報酬	0	0	677,500	677,500
給料手当	0	0	1,879,513	1,879,513
法定福利費	0	0	331,846	331,846
旅費交通費	0	0	160,962	160,962
会議費	0	0	27,920	27,920
通信運搬費	0	0	30,690	30,690
消耗品費	0	0	41,630	41,630
諸謝金	0	0	54,450	54,450
手数料	0	0	7,190	7,190
租税公課	0	0	12,463	12,463
支払負担金	0	0	144,000	144,000
委託料	0	0	112,994	112,994
ソフトウェア関連	0	0	434,183	434,183
賞与引当金繰入	0	0	409,000	409,000
退職手当積立金	0	0	1,000,000	1,000,000
返還金	14,274,723	0	0	14,274,723
国立市補助金返還金	5,874,665	0	0	5,874,665
事業費補助金返還金	5,874,665	0	0	5,874,665
国立市指定管理料返還金	8,400,058	0	0	8,400,058
芸術小木一ル指定管理料返還金	2,184,161	0	0	2,184,161
総合体育館指定管理料返還金	6,031,530	0	0	6,031,530
有料公園指定管理料返還金	184,367	0	0	184,367
経常費用計	473,484,672	11,005,267	7,012,016	491,501,955
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	70,000	70,000
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	70,000	70,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
一般財産振替	0	0	△ 7,200,000	△ 7,200,000
経常外費用計	0	0	7,200,000	7,200,000
当期経常外増減額	0	0	△ 7,200,000	△ 7,200,000
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	△ 7,130,000	△ 7,130,000
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	△ 7,130,000	△ 7,130,000
法人税等	0	0	70,000	70,000
当期一般正味財産増減額	0	0	△ 7,200,000	△ 7,200,000
一般正味財産期首残高	0	2,032,890	9,500,000	11,532,890
一般正味財産期末残高	0	2,032,890	2,300,000	4,332,890
II 指定正味財産増減の部				
指定正味財産への振替額	0	0	1,000,000	1,000,000
退職手当積立金	0	0	1,000,000	1,000,000
当期指定正味財産増減額	0	0	1,000,000	1,000,000
指定正味財産期首残高	312,545,668	0	0	312,545,668
指定正味財産期末残高	312,545,668	0	1,000,000	313,545,668
IV 正味財産期末残高	312,545,668	2,032,890	3,300,000	317,878,558

# 正味財産増減計算書内訳表

2025年 4月 1日から2026年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的会計			収益事業等会計		法人会計	合計
	芸術文化事業	郷土文化事業	スポーツ・レクリエーション事業	収益付帯	収益管理	法人管理	
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	75,000	75,000	75,000	0	0	70,021	295,021
基本財産受取利息	75,000	75,000	75,000	0	0	70,021	295,021
定期預金受取利息	75,000	75,000	75,000	0	0	70,021	295,021
特定資産運用益	753	0	0	0	0	0	753
特定資産受取利息	753	0	0	0	0	0	753
定期預金受取利息	753	0	0	0	0	0	753
事業収益	98,399,885	71,403,780	233,135,600	1,315,490	9,640,000	0	413,894,755
自主・共催事業収益	4,801,165	766,130	12,630,400	0	0	0	18,197,695
国立市指定管理料収益	77,903,000	65,319,000	165,615,000	0	7,470,000	0	316,307,000
国立市受託料収益	0	4,000,000	4,898,160	0	0	0	8,898,160
利用料金収益	15,590,120	1,213,550	49,886,740	0	2,170,000	0	68,860,410
広告料収益	105,600	105,100	105,300	0	0	0	316,000
付帯サービス事業収益	0	0	0	1,315,490	0	0	1,315,490
受取補助金等	25,727,403	30,652,360	13,353,360	0	0	7,008,920	76,742,043
国立市補助金収益	24,757,360	30,652,360	13,353,360	0	0	7,008,920	75,772,000
国等助成金収入	966,183	0	0	0	0	0	966,183
受取民間助成金	3,860	0	0	0	0	0	3,860
受取寄付金	30,000	0	0	0	0	0	30,000
受取寄付金	30,000	0	0	0	0	0	30,000
雑収益	30,488	4,492	521,551	49,777	0	3,075	609,383
受取利息	1,248	0	212,933	0	0	3,075	217,256
定期預金受取利息	0	0	77,232	0	0	0	77,232
普通預金受取利息	1,248	0	135,701	0	0	3,075	140,024
雑収入	29,240	4,492	308,618	49,777	0	0	392,127
経常収益計	124,263,529	102,135,632	247,085,511	1,365,267	9,640,000	7,082,016	491,571,955
(2) 経常費用							
事業費	118,132,036	102,135,632	238,942,281	1,365,267	9,640,000	0	470,215,216
報酬	19,778,696	15,956,996	18,230,480	95,000	1,304,000	0	55,365,172
給料手当	14,896,331	30,346,787	21,361,046	0	490,000	0	67,094,164
法定福利費	4,073,000	6,520,459	4,507,827	0	110,000	0	15,211,286
中退共掛金	360,000	1,080,000	360,000	0	0	0	1,800,000
臨時雇賃金	688,359	983,813	136,600	0	0	0	1,808,772
福利厚生費	193,087	237,005	259,080	0	0	0	689,172
旅費交通費	912,619	948,332	503,662	0	0	0	2,364,613
会議費	78,649	14,797	0	0	0	0	93,446
通信運搬費	1,080,187	972,537	944,969	0	0	0	2,997,693
消耗品費	1,456,999	2,271,276	5,571,926	442,550	312,000	0	10,054,751
印刷製本費	967,935	1,661,598	996,466	0	0	0	3,625,999
修繕費	2,415,000	2,196,617	11,383,726	0	330,000	0	16,325,343
光熱水料費	10,274,356	5,411,550	41,026,967	0	1,470,000	0	58,182,873
燃料費	0	43,959	42,165	0	0	0	86,124
賃借料	2,050,032	932,218	3,118,280	0	180,000	0	6,280,530
保険料	164,252	100,700	675,840	0	0	0	940,792
諸謝金	3,098,487	391,977	7,469,507	0	0	0	10,959,971
手数料	1,231,016	240,791	410,044	238,601	76,000	0	2,196,452
租税公課	2,375,934	1,926,833	4,792,233	60,000	105,000	0	9,260,000
広告宣伝費	261,800	0	0	0	0	0	261,800
支払助成金	205,600	205,700	208,700	0	0	0	620,000
委託料	46,425,616	22,939,277	106,692,009	529,116	5,263,000	0	181,849,018
支払負担金	153,900	25,900	1,077,400	0	0	0	1,257,200
減価償却費	1,417,799	2,948,998	6,573,381	0	0	0	10,940,178
雑費	0	22,533	0	0	0	0	22,533
ソフトウェア関連	1,798,716	726,312	792,306	0	0	0	3,317,334
賞与引当金繰入	1,773,666	3,028,667	1,807,667	0	0	0	6,610,000

(単位：円)

科 目	公益目的会計			収益事業等会計		法人会計	合計
	芸術文化事業	郷土文化事業	スポーツ・レクリエーション事業	収益付帯	収益管運	法人管理	
管理費	0	0	0	0	0	7,012,016	7,012,016
報酬	0	0	0	0	0	1,687,675	1,687,675
役員報酬	0	0	0	0	0	677,500	677,500
給料手当	0	0	0	0	0	1,879,513	1,879,513
法定福利費	0	0	0	0	0	331,846	331,846
旅費交通費	0	0	0	0	0	160,962	160,962
会議費	0	0	0	0	0	27,920	27,920
通信運搬費	0	0	0	0	0	30,690	30,690
消耗品費	0	0	0	0	0	41,630	41,630
諸謝金	0	0	0	0	0	54,450	54,450
手数料	0	0	0	0	0	7,190	7,190
租税公課	0	0	0	0	0	12,463	12,463
支払負担金	0	0	0	0	0	144,000	144,000
委託料	0	0	0	0	0	112,994	112,994
ソフトウェア関連	0	0	0	0	0	434,183	434,183
賞与引当金繰入	0	0	0	0	0	409,000	409,000
退職手当積立金	0	0	0	0	0	1,000,000	1,000,000
返還金	6,131,493	0	8,143,230	0	0	0	14,274,723
国立市補助金返還金	3,947,332	0	1,927,333	0	0	0	5,874,665
事業費補助金返還金	3,947,332	0	1,927,333	0	0	0	5,874,665
国立市指定管理料返還金	2,184,161	0	6,215,897	0	0	0	8,400,058
芸術小ホール指定管理料返還金	2,184,161	0	0	0	0	0	2,184,161
総合体育館指定管理料返還金	0	0	6,031,530	0	0	0	6,031,530
有料公園指定管理料返還金	0	0	184,367	0	0	0	184,367
経常費用計	124,263,529	102,135,632	247,085,511	1,365,267	9,640,000	7,012,016	491,501,955
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	70,000	70,000
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0	0	70,000	70,000
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
一般財産振替	0	0	0	0	0	△ 7,200,000	△ 7,200,000
経常外費用計	0	0	0	0	0	7,200,000	7,200,000
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	△ 7,200,000	△ 7,200,000
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	△ 7,130,000	△ 7,130,000
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	△ 7,130,000	△ 7,130,000
法人税等	0	0	0	0	0	70,000	70,000
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	△ 7,200,000	△ 7,200,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	2,032,890	0	9,500,000	11,532,890
一般正味財産期末残高	0	0	0	2,032,890	0	2,300,000	4,332,890
II 指定正味財産増減の部							
指定正味財産への振替額	0	0	0	0	0	1,000,000	1,000,000
退職手当積立金	0	0	0	0	0	1,000,000	1,000,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	1,000,000	1,000,000
指定正味財産期首残高	110,295,689	92,249,979	110,000,000	0	0	0	312,545,668
指定正味財産期末残高	110,295,689	92,249,979	110,000,000	0	0	1,000,000	313,545,668
III 正味財産期末残高	110,295,689	92,249,979	110,000,000	2,032,890	0	3,300,000	317,878,558

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

販売品は、最終仕入れ原価法に基づく原価方式を採用している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

#### (3) 引当金

##### ア 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

##### イ 退職給付引当金

職員に対する退職給付に備えるため、給付見込額のうち当期に帰属する金額から中小企業退職金共済給付額を控除した金額を計上している。

期末退職給付の要支給額に相当する金額から

#### (4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。消費税については、中間納付及び確定申告分を納付した日の所属する会計年度に計上している。

#### (5) 国立市からの補助金収入及び指定管理料等収入は、積算根拠に基づき、対象事業費を精査する。

ア 国立市から交付を受けた補助金と事業年度中に発生した補助金対象経費との差額は、必要に応じて一定額を次期繰越金収支差額とし、その他は、返還する。

イ 国立市からの指定管理料収入と事業年度中に発生した指定管理事業費との差額は、返還する。

ウ 国立市からの受託事業委託料収入と事業年度中に発生した受託事業費との差額は、返還する。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	312,249,979	0	0	312,249,979
小 計	312,249,979	0	0	312,249,979
特定資産				
くにたちアート ビエンナーレ 事業預金	295,689	0	0	295,689
退職手当 積立預金	0	1,000,000	0	1,000,000
小 計	295,689	0	0	1,295,689
合 計	312,545,668	0	0	313,545,668

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	うち指定正味財 産からの充当額	うち一般正味財 産からの充当額	うち負債に 対応する額
基本財産				
定期預金	312,249,979	312,249,979		
小 計	312,249,979	312,249,979		
特定資産				
くにたちアート ビエンナーレ 事業預金	295,689	295,689		
退職手当 積立預金	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000
小 計	1,295,689	295,689	1,000,000	1,000,000
合 計	313,545,668	312,545,668	1,000,000	1,000,000

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

リース資産科目の物件	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
OA機器及び収蔵品管理 システム	13,068,000	2,613,600	10,454,400
総合体育館ラットプルダ ウン他一式	21,786,600	7,625,310	14,161,290
自動券売機	4,098,600	751,410	3,347,190
PC関連	547,360	547,360	0
PC関連	11,910,660	1,588,088	10,322,572
サーバー機器等	3,427,600	1,082,400	2,345,200
合 計	54,838,820	14,208,168	40,630,652

- 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対 照表上
補助金						
管理費 補助金	国立市	0	7,008,920	7,008,920	0	
事業費 補助金	国立市	0	68,763,080	68,763,080	0	
助成金						
事業費 助成金	国	0	966,183	966,183	0	
事業費 助成金	民間等	0	30,000	30,000	0	

付属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金 (JA東京みどり国立支店)	312,249,979	0	0	312,249,979
	基本財産計	312,249,979	0	0	312,249,979
特定資産	くにたちアートビエンナーレ 事業預金 (多摩信用金庫国立支店)	295,689	0	0	295,689
	退職手当積立預金 (多摩信用金庫国立支店)	0	1,000,000	0	1,000,000
	特定資産計	295,689	1,000,000	0	1,295,689

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	6,447,000	7,019,000	6,447,000	0	7,019,000
退職給付引当金	0	7,200,000	0	0	7,200,000

# 財産目録

2026年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金	手許保管	運転資金として保有している	639,758
		手持現金		99,758
		釣銭現金		540,000
	預金	普通預金		32,433,847
		多摩信 国立支店	運転資金として保有している	29,864,439
		多摩信 国立支店 (基本財産口)	運転資金として保有している	408,203
		多摩信 国立支店 (退職手当積立口)	運転資金として保有している	5,000
		多摩信 国立支店 (ビエンナーレ口)	運転資金として保有している	8,836
		ゆうちょ銀行	運転資金として保有している	1,317,821
		JA東京みどり 国立支店	運転資金として保有している	828,318
		大和ネクスト銀行	運転資金として保有している	1,230
		定期預金		30,000,000
		多摩信 国立支店	運転資金として保有している	30,000,000
	未収金	4施設3月分利用料金等	利用料金、グッズ代金等	230,158
	前払金	5、6月分チラシ印刷代等	公益目的事業用チラシ印刷代金等	162,430
販売品	収益事業の棚卸資産	収益事業用の在庫	1,424,668	
貯蔵品		切手の在庫	42,857	
<b>流動資産合計</b>				<b>64,933,718</b>
<b>(固定資産)</b>				
<b>基本財産</b>				
	預金	定期預金		312,249,979
		JA東京みどり 国立支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的 事業の財源として使用している	200,000,000
		大和ネクスト銀行		112,249,979
<b>特定資産</b>				
	預金	定期預金		1,295,689
		多摩信 国立支店	退職手当支給のための積立預金	1,000,000
		*退職手当積立口に預入		
		多摩信 国立支店	くにたちアートビエンナーレ事業預金	295,689
		*ビエンナーレ口に預入		
<b>その他固定資産</b>				
	リース資産			40,630,652
		郷土OA機器・収蔵品管理システム	公益目的保有財産で、公益目的事業に使用	10,454,400
		体育館ラット・ルグ・ウン他	公益目的保有財産で、公益目的事業に使用	27,831,052
		芸小サーバ機器	公益目的保有財産で、公益目的事業に使用	2,345,200
<b>固定資産合計</b>				<b>354,176,320</b>
<b>資産合計</b>				<b>419,110,038</b>
<b>(流動負債)</b>				
	未払金	嘱託報酬等の未払金	嘱託報酬等の未払金	42,822,290
	前受金	事業に対応するカット代收り等	次年度事業参加費収入などの前受収入	2,172,000
	預り金	職員	社会保険料、所得税源泉徴収金等の預り金	1,387,538
	健康保険料			145,170
	厚生年金			199,467
	雇用保険料			540,635
	源泉所得税			315,579
	事業源泉所得税			186,687
	賞与引当金		固有職員嘱託員夏期賞与引当金	7,019,000
<b>流動負債合計</b>				<b>53,400,828</b>
<b>(固定負債)</b>				
	リース債務			40,630,652
		郷土OA機器・収蔵品管理システム	公益目的保有財産で、公益目的事業に使用	10,454,400
		体育館ラット・ルグ・ウン他	公益目的保有財産で、公益目的事業に使用	27,831,052
		芸小サーバ機器	公益目的保有財産で、公益目的事業に使用	2,345,200
	退職給付引当金		固有職員退職手当給付引当金	7,200,000
<b>固定負債合計</b>				<b>47,830,652</b>
<b>負債合計</b>				<b>101,231,480</b>
<b>正味財産</b>				<b>317,878,558</b>

2026年度

# 事業計画書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

# 事業体系

くにたち文化・スポーツ振興財団のビジョン

事業計画の概要 .....	1
---------------	---

## I 公益事業

1 F S Xホール（芸術小ホール） .....	2
事業計画（市民の芸術文化振興の企画と実施事業） .....	4
2 郷土文化館 .....	8
事業計画（郷土に関する文化の伝承と振興事業） .....	11
3 F S Xアリーナ（総合体育館） .....	15
事業計画 （市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業） .....	18
4 共通公益事業（総務課） .....	22
5 指定管理事業（各館共通） .....	22

## II 収益事業等

1 付帯サービス事業 .....	22
2 その他の事業 .....	22

## III 管理（法人管理事業）

1 役員及び役員会等に関する事業 .....	23
------------------------	----

## くにたち文化・スポーツ振興財団のビジョン (信頼と支えあいの豊かな空間の提供をめざして)

くにたち文化・スポーツ振興財団は、これまで各館が積み重ねてきた歴史と実績を基本として、引き続き「信頼と支えあいを築く豊かな空間の提供」を目標とします。

近年、社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）の重要性が再認識されています。すでに一定の水準で整備された社会資本（物的資本）を有効に活用し、どのように豊かな社会の実現に結び付けていくかという、人口減少時代の都市が直面する課題に的確にこたえていくことが広く求められています。その中心にあるのが、人と人を結びつける社会関係資本といわれています。

具体的には、「信頼」、「（互酬性の）規範」、「ネットワーク（絆）」をその内容としますが、社会関係資本は人々の生活をより豊かにするものであり、健康感や幸福感にも深く結びついています。このような観点から、当財団は「信頼と支えあいを築く豊かな空間の提供」を事業推進の目標として掲げています。

一方、これまで同様に下図のSDGsとの関わりを認識し、事業推進を図ります。

### SDGs関連図



当財団の事業と SDGs のかかわりを見ると、「すべての人に健康と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」、「生涯学習の機会促進」、「文化遺産及び自然遺産の保護、保全」、「生物多様性・絶滅危惧種の保護・保全」、「平和で包摂的な社会の促進」、「公的、民間、市民社会のパートナーシップ」などがあり、今まで行ってきた各館の事業が改めて SDGs とかかわっていたことがわかります。

また、国立市では、総合的な「健康まちづくり戦略」として、①つながり、集えるまち、②楽しく喜びにあふれるウォーカブルなまち、③多様で豊かな食と文化を志向するまちの3点を目指すべき方向性として挙げています。

そして、市民が肉体的、精神的、社会的にもすべて満たされている状態である「ウェルビーイング」を支えるまちづくりを進めています。

当財団としても、今後もこれらのことを意識して、市及び関連する機関との連携を深め、目標達成に向けて取り組んでいきます。

## 事業計画の概要

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団は、設立時の基本理念を念頭に、定款に掲げた文化・スポーツ事業等を企画実施し、市民の文化、健康の向上を図り、地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与する目的達成に努めます。

この目的を達成するため、

- 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）
- 郷土に関する文化の伝承と振興事業（定款第4条第2号）
- 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業  
（定款第4条第3号）
- 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業  
（定款第4条第4号）
- 市より受託する文化・スポーツ及び健康増進事業（定款第4条第5号）
- 市より受託する施設の管理運営事業（定款第4条第6号）

などの事業を実施します。

当財団は、国立市との連携により、F S Xホール及び郷土文化館を核として、国立市に文化が香るまちづくりを推進させるために芸術文化施策を充実させ、長期的視野に立って芸術を育む良質の土壌を作ります。また、F S Xアリーナを核として、市民の多種多様なスポーツ・レクリエーションのニーズに対応し、体力の向上や心身の健康の保持・増進、余暇の充実を図ってまいります。

## I 公益事業

### F S Xホール

#### 基本方針

F S Xホールは、多摩地区最小の公立複合文化施設として開館しました。コンパクトながら劇場機能を満たす施設・設備と人的体制を備えています。市民が自ら芸術文化に親しみ交流・発信する環境を整える貸館事業と、芸術の創造や継承、普及を行う自主事業とによって、地域の芸術文化振興に寄与する役割を果たしていきます。

また、地域の公共ホールとして、芸術による地域貢献を意識して社会関係資本（ソーシャル・キャピタル）およびSDGsの観点から芸術活動を通して人と人との関係性をつくり、協調・多様性のある社会の実現を目指します。

#### 2026年度の運営概略

F S Xホールでは、ホール条例第1条「市民の芸術、文化の普及振興を図り、地域文化の創造と向上に寄与するため」および、国立市文化芸術条例の基本方針「文化や芸術に関わることのできる機会をつくる」「主体的な活動を行うことができるよう配慮」「相互に連携及び協働を図る」「多様な交流を展開」「子ども及び青少年が積極的に文化活動に参加」等に沿って、「芸術環境創造事業」および「芸術振興事業」を積極的に展開してまいります。

また、今年度は、市民との協働を行いつつ地域の文化を醸成することを目指し、そのためにアーティスト・専門家との関係性を活かしていきます。

#### I. 芸術環境創造事業

##### 1. 教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

芸術文化活動が身近に感じられる環境を芸術団体、アーティスト等とともにつくり、市や市内関係施設と連携しながら、多様な立場にある人々へ芸術が届きやすくなることをねらいます。

##### 2. 学校教育との連携事業

地域の教育機関と連携し、その資質を活かした事業を行います。また、子どもたちが芸術・アーティストに出会う機会となる事業を市内小学校等で展開します。

##### 3. 地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

市民が芸術分野で講座講師を務め、その活動を通じてコミュニティーの創成を狙う「市民一芸塾」講座を企画開催します。

#### II. 芸術振興事業

##### 1. 芸術文化の創造事業

「創造できるホール」として第一線で活躍するアーティストやクリエイターを起

用し、内容の充実とより高いクオリティを追求します。

この分野においては補助金・助成金等の獲得に向け最大限の努力を行っていきます。

## **2. 芸術文化の継承事業**

クラシック音楽、伝承芸能などの分野における優れた舞台を市民に提供しその継承と普及に努め、文化芸術を生み出す基盤づくりを行います。

## **3. 芸術文化の交流・支援事業**

演者との距離感を縮め市民がより親しみを感じることできるスタジオでの事業、誰もが気軽に舞台芸術に触れる機会となる無料事業等を行います。

# **Ⅲ. その他**

## **1. 自主事業、連携事業企画調査**

事業運営能力、接遇の向上をめざし研修参加等の機会を設けるとともに職員間の標準化を図っていきます。

## **2. 実行委員会参画事業**

市民との実行委員会形式で運営する地域に根付いた活動を継続します。  
今後に向け各市民芸術団体の交流と活動の自立を目指し、市民による芸術文化活動の充実を支えていきます。

1 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）

[芸術文化事業]

(1) 芸術環境創造事業

① 教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

計画事業 通し番号	計		
	事業名	開催形態	実施月
○ ● 1	芸小ステージクリエイションシリーズ 小さな劇場三部作 FSXホール公演、出張公演	自主	未定
○ 2	シリーズ富士見台ものがたり『カラダ×FSXホール～この場所に生まれるダンス／みんな劇場に成る』	自主	9月

② 学校教育との連携事業

● 3	【国立音大連携事業】 音楽文化教育学科 音楽療法専修との協働企画コンサート	自主	後期
○ ● 4	地域創造「ダンス活性化支援事業」	共催	2月

③ 地域の芸術文化資源を活用した学び・体験事業

5	市民一芸塾（2回）	自主	秋・冬
---	-----------	----	-----

(2) 芸術振興事業

① 芸術文化の創造事業

● 6	inc. percussion days 2026	共催	未定
○ ● 7	多和田葉子 複数の私vol.09『あしのゆびはアルファベット』 『（再演）オルフォイスあるいはイザナギ』	自主	10/31、11/1
○ ● 8	【東京文化会館との共催】 チームアップ！オペラ『（作品未定）』	共催	9月

② 芸術文化の継承事業

9	フレッシュ名曲コンサート（室内楽）	共催	秋
10	東京ネットワーク計画	共催	未定
11	ホール寄席	自主	12月

- こどもおすすめ事業  
● 新規事業

画	SDGs関連
事業内容及び説明	
当シリーズから「小さな劇場三部作」を上演し、ホールが所有する作品として地域の子どもたちに上質な演劇公演を提供します。また市内の幼稚園・保育園・小学校等での上演を目指します。	目標4, 10
アーツカウンシル東京 地域芸術文化活動応援助成「地域の文化魅力づくり」助成獲得。現代ダンスの振付家たちとともに、地域のダンス関係者や子どもから高齢者までの市民が参加し舞台作品を作ります。	目標4, 10

国立音楽大学の協力で、音楽療法を用いたインクルーシブ演奏会を実施します。市の生涯学習課やしょうがいしゃ支援課等とも連携し、様々な立場の人たちが音楽を楽しむ場づくりをします。学生に実践の機会を提供し育成にも寄与します。	目標4, 16
(一財) 地域創造「現代ダンス活性化支援事業」採択決定。学校(通常級、支援級)等でのアウトリーチと、ホールでの公演およびワークショップを実施します。第一線で活躍するダンサー・振付家とともに地域課題を見出しながら取り組みます。	目標4, 10

地域の専門家を講師として招聘して、市民向けに造形や実演の文化芸術講座を開催します。	目標3, 4
---	--------

【一部入場無料】世界的打楽器奏者の加藤訓子氏主宰による若手演奏家育成プロジェクト参加演奏者らによるリサイタル、ワークショップを実施します。また、能と現代音楽による2012年度に当館初の創作作品として制作した『OTODAMA/KOTODAMA』の一部を再演します。	目標4, 10
多和田葉子氏作の戯曲2作品を演劇公演として実施します。芸術文化振興基金助成申請中。	目標4, 10
東京文化会館のオペラを気軽に楽しめるシリーズに共催します。著名な指揮者・演出家・出演者とともに公募により参加の小中学生で本格オペラに挑戦します。	目標4, 10

東京文化会館との共催。東京音楽コンクール1位および日本音楽コンクール入賞者によるアンサンブルコンサート。地域住民がクラシック音楽に親しむ機会づくりと、新進演奏家を支援することを目的とします。	目標4, 10
東京文化会館主催事業。若手アーティスト支援に力を入れている文化施設等と繋がり、これからのクラシック音楽界をリードする若い演奏家たちのコンサートを提供します。出演料の負担はなく、チケット販売額は東京文化会館の収入となります。	目標4, 10
一連の落語事業のうち「鑑賞」に焦点を当て著名な落語家の至芸を提供します。すたじお寄席との連携で、落語事業の発展・展開を行います。	目標4, 10

計画事業 通し番号	計		
	事業名	開催形態	実施月
○ 12	こども寄席、中高生寄席	自主	7月
○ 13	鼓童交流公演2026	共催	未定
14	くにたち市民オーケストラ 2027年ニューイヤーコンサート	共催	1月
● 15	くにたちオペラ『あの町は今日もお祭り』 上映会と新撮映像制作	主催	通年

### ③芸術文化の交流・支援事業

16	スタジオコンサート(3回) vol.115~vol.117	自主	春、秋
17	くにたちすたじお寄席 61-63回	自主	6・9・3月
○ 18	ランチタイムコンサート&ステージ (9回)	自主	毎月
19	ホールとグランドピアノのシェアプログラム (3回程度)	自主	通年

### (3)その他

#### ①自主事業、連携事業企画調査

20	スタッフ・ディベロップメント事業	自主	通年
21	その他事業(オアシス、助成、観まちバナー広告)	自主	通年

#### ②実行委員会参画事業

○ 22	第49回 くにたち音楽祭	共催	6月
○ 23	第32回 国立市吹奏楽フェスティバル	共催	9月
24	第36回ファミリーフェスティバル (春風コンサートなど)	共催	5月
25	ギャラリーネットワーク連携事業	共催	9月
○ 26	わくわく子どもフェスタ	共催	2月

- こどもおすすめ事業
- 新規事業

画	SDGs関連
事業内容及び説明	
すたじお寄席出身の真打落語家による指導で、受け継がれてきた芸を通して江戸情緒や昔の暮らしなどに親しみ、話芸の世界を体験する落語講座を開催します。	目標4
現代和太鼓アンサンブルの音楽を築いたリーディングカンパニー鼓童若手奏者による、こどもたちに向けた地域交流公演を行います。チケット販売額の10%を当館収入とします。	目標4, 10
くにたち市民オーケストラによる管弦楽の名曲コンサートを、共催事業として行います。共催とし、チケット販売額の10%を当館収入とします。	目標4, 10
市民協働で制作上演したくにたちオペラの継承を図るため、作品を紹介する短編映像を制作します。	目標4, 10

スタジオ（70席）のサイズ感を活かし、音楽を身近に親しみやすく体験するコンサートを開催します。様々なジャンルから選択し、幅広い層の鑑賞者開拓を行います。	目標4, 10
真打ち昇進を目指す若手落語家たちに機会を提供し、若手の成長を応援するとともに、落語普及に寄与する定例落語会を引き続き開催します。	目標4, 10
【入場無料】公益事業として開催します。音楽に加え、多彩な実演芸術を紹介します。	目標4, 10
ホール利用の予約が少ない平日に、ホールとコンサートグランドピアノの利用を1時間単位で分かち合う利用体験事業を、利用促進事業として実施します。	目標4, 10

職員が、接遇、企画力、コーディネート力の育成を図る目的で、講座・研修事業へ参加します。	目標17
施設見学の受け入れを行います。助成金交付事業、財団広報誌オアシス等の宣伝業務、(ビエンナーレ彫刻のメンテナンス、)芸術文化情報の発信事業を行います。	目標10

【入場無料】参加団体で実行委員会を組織して運営し、市内で活動する様々な音楽団体による合同発表公演を開催します。	目標3
【入場無料】参加団体で実行委員会を組織して運営し、主に中高の吹奏楽団体による合同発表公演を開催します。	目標3
【入場無料】国立三中OB吹奏楽団による毎年好評の吹奏楽「春風コンサート」などを実施します。	目標3, 4
【入場無料】市内で営業している画廊の連絡協議団体が、市民向け公益事業を開催します。	目標3, 4
【一部入場無料】立川子ども劇場国立支部などが実行委員会を組織して、子ども向けの様々な事業を行います。	目標3

SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」 目標4「質の高い教育をみんなに、生涯学習の機会を促進」  
 目標10「だれもが等しく芸術に触れる機会を」 目標16「包摂的な社会を推進」  
 目標17「公的、官民、市民社会のパートナーシップを推進」



## 郷土文化館

### 基本方針

郷土文化館は、下図にあるメインテーマを運営の基本理念として、各種事業を展開してきました。この理念は国連のSDGsに通ずるもので、今後もこの理念を尊重しつつ社会の要請や地域の変化を視野に入れた運営を推し進めます。そのため、主催事業は計画的に実施し、とりわけ専門職員としての学芸員はその専門性を高め、より地域に貢献する郷土文化館を目指します。また、参画／協働型の運営を拡充し、収集、保存、調査研究、普及、展示等に市民力が発揮できる機会を確保します。これらの目的達成のために、以下の課題に取り組んでいきます。

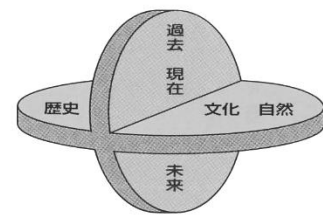
### 2026年度の運営概略

郷土文化館では、SDGs 目標 4「質の高い教育をみんなに、生涯学習の機会促進」、目標 11-ターゲット 4「文化遺産及び自然遺産の保護、保全」、目標 15-ターゲット 5「生物多様性の保全、絶滅危惧種の保護」、目標 17-ターゲット 17「公的、民間、市民社会のパートナーシップ活性化」の達成に向けて、登録博物館施設として、「過去・現在・未来を結ぶ」をメインテーマとし、有形・無形の地域文化遺産の継承、現世代への教育と未来社会への貢献を目指します。資料保存機関としての機能を生かしつつ、近代博物館の来館者重視の流れを受け、さまざまな企画展示及び企画事業を通じて、地域の人々の生涯学習の拠点としての資料の公開、及び普及活動を展開します。産官学連携での各種活動を展開し、教育の対象を来館者だけでなくアウトリーチとして学校も含めた市中に広げていきます。また、自然環境に恵まれた立地条件を活かし、生物多様性の保全を意識しながら自然系の事業を推進します。

2026年4月に国立駅は開業100周年を迎えます。国立駅は分譲地「国立大学町」とり欠くことのできない施設でした。駅設置の経緯を含めた分譲地開発に関して、当時の資料を取り上げ、まちの成り立ちを知る機会となる企画展を実施します。

### I 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保存、調査研究、教育支援のための事業

- 1 ハケ、里山を、地域の資源ととらえ、保全と共生のためのプログラムを組みます。
  - (1) 城山の里山づくり・里人会議の会員と情報を共有し、観察事業、保全事業を展開します。
- 2 「城山さとのいえ」との協力・連携を進めます。
  - (1) 古民家伝統行事（鯉のぼり、七夕飾り、ひし餅、まゆ玉、十五夜だんごなど）の事業を推進します。
- 3 国立市観光まちづくり協会等と連携し、古民家の多角的な利用及び、旧国立駅舎を活用し、有形



- 過去・現在・未来を結ぶ
- 歴史・文化・自然の調和
- 人との、人と人との出会い
- 驚き・不思議さ・おもしろさ
- 文教都市くにたちの象徴

メインテーマ  
過去・現在・未来を結ぶ  
—多摩川が育んだ段丘とともに生きる私たち—  
(ハケ)

文化財への理解と関心を深めます。

- (1) 見学者への対応に加え、集会や事業のための有効利用を図ります。
- 4 国立市内の有形・無形の文化遺産を市民が誇りと愛情を持てるよう活用します。
  - (1) 伝承者の高齢化が進む中、地域の無形文化遺産（慣習・知識など）を計画的に引継ぎ、後世に継承します。（わら細工伝承サポーター育成等）
  - (2) 国立市所蔵美術品を随時紹介します。
  - (3) 自然環境を含む地域文化の理解を深めるため地域歩き事業を展開します。

## II 市民が参加及び体験する事業

### 一産官学の連携による、まちぐるみ創造空間の演出参加一

- 1 歴史、文化の継承拠点として、それを支える団体・サークルとの協力体制を引き続き維持します。
  - (1) 歴史系、民俗系、自然系、創作の団体・サークルの活動を支援する中で、事業を展開し、団体・サークルの相互理解と地域への拡散を図ります。
- 2 包括連携協定を締結している大学等との協働事業を展開します。
  - (1) 学習会、講演会等への講師派遣や資料提供依頼を拡充します。
- 3 出前講座、課外学習会等、学校教育への積極支援を行います。
  - (1) 伝統文化や生活誌を、分かりやすく伝える機会をつくります。
  - (2) 民具資料を紹介し、体験学習等で活用を図ります。
- 4 国立市所蔵美術品の市民（団体、個人）への情報提供を推進します。
  - (1) 国立市所蔵美術品を適宜市民に公開します。
- 5 社会教育機関や行政との連携を促進します。
  - (1) 展示事業、調査研究事業において、公民館、図書館等の社会教育機関や一般行政組織と連携し、市内全域でくじにたちの過去、現在、未来を学び、考える機会を創出します。

## III 行政の事務事業及び生涯学習活動の支援

- 1 公共施設予約システムについて、利用者の視点で検証します。
  - (1) デジタルデバインドへの丁寧な対応と公平性を確保します。
- 2 行政から移管された資料の整理を促進します。
  - (1) 広報担当撮影写真のデジタル化を推進し、パネル展示やウェブ上で公開します。  
(広報移管写真紹介等)
  - (2) 関連した企画展を開催し、今後のまちづくりを考える機会を提供します。
- 3 資料研究室の内容充実と利用促進を図ります。
  - (1) 地域資料の提供及び生涯学習の支援に、より一層資するため、資料研究室における登録書籍及び配架設備の充実を図ります。
- 4 講座事業、オンライン発信を充実させます。
  - (1) 企画展示に関連した講座を充実させると共に、各種オンライン発信を強化し、より多くの人々が広く深く学習できる機会を提供します。

- 5 文化財行政、社会教育行政との連携を促進します。
  - (1) 常設展示室を中心として、展示資料の見直しを図り、最新ICT技術を活用した新たな展示解説の方法の検討などを行います。
- 6 指定管理事業の内容を精査し、一層の効率化を図ります。
  - (1) ミュージアムグッズの在庫管理を徹底し、販路の拡大を模索します。
  - (2) ホームページを充実し、郷土文化館の機能、所蔵資料紹介を掲載します。
  - (3) 旧国立駅舎において、郷土文化館グッズ等の販売を促進します。

#### **IV 市内遺跡整理調査業務受託事業**

市内遺跡調査の図面作成、出土品整理、報告書の作成及び発掘調査補助業務を受託し、文化財の保護、普及に寄与します。

#### **V 本田家旧蔵資料整理業務受託事業**

本田家旧蔵資料寄贈に伴う基礎調査で確認された約7万点にも及ぶ資料の確認、整理、データベース化及び調査補助業務を受託し、文化財の保護、普及に寄与します。

2 郷土に関する文化の伝承と振興事業 (定款第4条第2号)

[郷土文化事業]

(1)郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保存、調査研究、教育支援のための事業

①展示事業

・常設展示

計画事業 通し番号	計				
	事	業	名	開催形態	実施月
1	くにたち郷土文化館 常設展示			自 主	通年
2	ハケと生きもの展示			自 主	通年

・企画展示

● ○	3	春季企画展 「文化の華咲く国立 国立大学町と国立駅開業」	自 主	4月1日～ 6月14日 (70日間)
	4	共催企画展 「第26回 紙の工芸展」	共 催	9月～10月
○	5	冬季企画展 「むかしのくらし」展	自 主	1月～3月 8週間

②資料収集・調査・研究事業

	6	資料活用及び保存に伴う調査・研究・修復事業	自 主	通年
	7	地域資料の整理	自 主	通年
	8	収蔵資料の整理	自 主	通年
	9	資料のデジタル化事業	自 主	通年
	10	図書資料整理	自 主	通年
	11	地域資料等の購入・収集及び調査・研究・教育普及事業	自 主	通年
	12	調査、研究等の書籍刊行事業	自 主	通年

○ こどもおすすめ事業

● 新規事業

画	SDGs関連
事業内容及び説明	
「過去・現在・未来を結ぶー多摩川が育んだ段丘とともに生きる私たちー」をメインテーマとし、国立市の歴史、民俗、自然の各分野について学んでもらうことを目的としています。	目標4
魚類等の生体展示または標本や剥製などの資料を通じて、ハケの湧き水や府中用水などに生息する生きものに親んでもらうことを目的としています。自然学習への関心を高める展示を継続します。	目標15 ターゲット5

国立駅開業100周年を記念し、駅開業日である4月1日に合わせて企画展を開催します。国立駅は箱根土地株式会社が開発した分譲地「国立大学町」にとって欠くべからざる施設でした。駅設置の経緯を含めた分譲地開発に関して、時代背景など当時を物語る資料を取り上げ、市民をはじめ多くの方へと情報提供することで、まちの成り立ちを知る機会となるよう実施します。	目標11 ターゲット4
主に市内で活動する人々により実行委員会を結成し共催で実施し、紙を素材にした様々な創作作品を展示します。期間中には、紙の特性や魅力を学びながら、子どもから大人まで楽しめる体験事業を実施します。（共催：紙の工芸展実行委員会）	目標11 ターゲット4
小学3年生の授業カリキュラムに関連し、当館所蔵の民具を展示することで、昔の暮らしや道具についての学習効果を深めることを目的としています。	目標4 ターゲット7

展示やデジタルデータの提供等、資料の公開に伴う情報提供に資するため、国立市に係る地域資料等の調査と研究を積極的に進め、情報の蓄積を図ります。また、次世代へ確実に地域資料を継承するために必要となる処置を検討し、修復等の処置を行います。	目標11 ターゲット4
新たに寄贈された資料（美術作品・写真・文書類・民具等）の整理を行います。	目標11 ターゲット4
館蔵資料等の保存環境の整備・改善を進めるため、保存・収蔵資材の充実を図ります。また、収蔵庫内の有効かつ安全な収納を促進するため、庫内の整理と収蔵方法の改良に取り組むと共に、館蔵資料の目録化を積極的に進めます。	目標11 ターゲット4
国立市広報担当から移管された写真等の館蔵資料について、資料価値や利用頻度が高い写真のデジタル化と公開を促進します。加えて、地域資料のデジタルデータ公開を積極的に進めるため、より多くの資料をデジタル化すると共に、音声資料を反訳してテキストデータ化することにより情報の蓄積を図ります。	目標11 ターゲット4
資料研究室に配架している図書資料を整理し、中央図書館とネットワーク化するためのデータ入力作業等を行います。	目標11 ターゲット4
他の社会教育機関と連携し、地域資料の収集活動及び地域史に関する調査・研究を行います。また、資料研究室に配架するための書籍の購入、及び国立市とその周辺地域の地域史に関連する登録書籍の充実を図り、利用者の生涯学習支援などに資するようにします。	目標11 ターゲット4
年報、研究紀要、収蔵資料の目録など、活動報告や調査・研究の成果を書籍にまとめて刊行します。	目標11 ターゲット4

③講座事業（教育・学習支援事業）

計画事業 通し番号	計				
	事	業	名	開催形態	実施月
13	講演会事業			自 主	年間3回
14	自然講座「くにたちの自然を学ぶ」（仮題）			自 主	年間1回
15	歴史講座「くにたちの歴史を学ぶ」（仮題）			自 主	年間2回
○ 16	ガイドツアー			自 主	随時
17	地域文化・郷土資料の紹介			自 主	随時
18	学習支援事業			自 主	随時

(2) 市民が参加及び体験する事業

①郷土の伝統文化を学び体験する事業

○ 19	小学生民具案内（全11校）			自 主	1月～3月
○ 20	わら細工教室（2回）			自 主	7月・12月
21	干支の折り紙教室			自 主	10月～12月
22	国立市古民家 展示と公開			自 主	通年
○ 23	国立市古民家事業・季節の飾り付け			自 主	通年
○ 24	国立市古民家事業・伝統行事			自 主	9月～2月

② 郷土の自然環境を学び体験する事業

○ 25	くにたち自然クラブ（全7回）			共 催	6月～12月
○ 26	星空ウォッチング（全3回）			自 主	12月～2月
○ 27	冬のいきもの探し			共 催	1～3月

- こどもおすすめ事業  
● 新規事業

画	SDGs関連
事業内容及び説明	
国立市の歴史・文化や、企画展示テーマについて詳細な内容を学ぶ機会として、専門家などを招き講演会を行います。	目標4
ハケや湧水、城山など恵まれた自然が残る、くにたちの地域環境や生息する生き物について、講義とフィールドワークを組み合わせた講座を行います。	目標15 ターゲット5
地域資料等を活用し、国立市の歴史に関する多面的な学習機会を提供します。	目標4
来館者に向けて展示解説や散策ガイドなどを行います。	目標4
国立市に関する情報や当館所蔵資料を紹介するため、企画展開催以外の期間を活用し、パネル掲示や映像コーナー、出張展示などの各種展示やワークショップなどを実施します。また、地域資料に関する冊子を刊行するなど、地域文化や郷土資料に関する情報発信を行います。	目標4
小学校出前講座や、中学生職場体験、博物館実習生受入など、学校教育の支援を行います。	目標4

市内の公・私立小学校全11校3年生を対象に、郷土文化館が収蔵する民具資料を使い、昔の暮らしを体験する機会とします。	目標4 ターゲット7
購入もしくは寄贈された稲わらを活用して、わらぞうり及びしめ縄作りを作成するワークショップを行います。	目標11 ターゲット4
来年の干支を和紙で制作することを通じて、日本の伝統文化である「折り紙」を体験するワークショップを行います。	目標11 ターゲット4
国立市有形民俗文化財・国立市古民家（旧柳澤家住宅）を一般に公開します。	目標4
寄贈を受けた節句人形等の資料を活用し、季節に合わせた飾り付け（端午の節句、七夕飾り、ひな人形飾り）を行います。城山さとのいえの来館者も楽しめるよう、共通の飾り付けを行います。	目標11 ターゲット4
国立市古民家を活用して、季節の伝統行事（十五夜だんご・まゆ玉飾り・節分豆まき・ひし餅作り）を行います。	目標11 ターゲット4

市内在住・在学の小学2～6年生を対象に、生きものや自然の観察を通して自然の大切さを学ぶことを目的として、様々な体験を行います。（共催：NPO法人国立市動物調査会）	目標15 ターゲット5
専門家による天文学の講演とあわせて、大型天体望遠鏡を使用して、冬の夜空に輝く星座を観察します。	目標4
ジュニアリーダー育成を目的とし、小学生を対象に、冬季の自然環境や動植物の観察法などを学びます。（共催：NPO法人国立市動物調査会）	目標15 ターゲット5

SDGs 目標4 「質の高い教育をみんなに、生涯学習の機会促進」  
 目標11ターゲット4 「文化遺産及び自然遺産の保護、保全」  
 目標15ターゲット5 「生物多様性の保全、絶滅危惧種の保護」  
 目標17ターゲット17 「公的、民間、市民社会のパートナーシップ活性化」



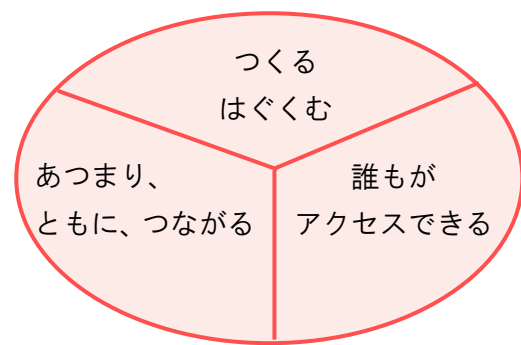
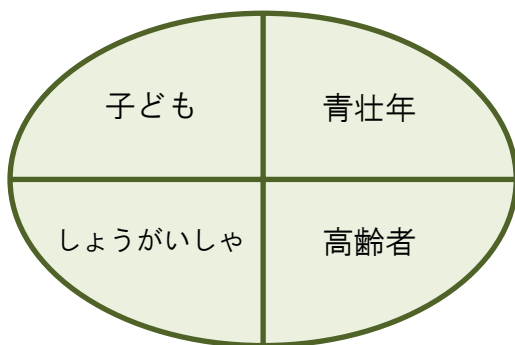
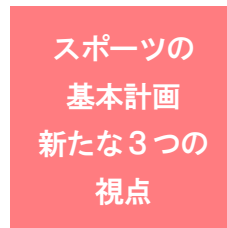
## FSXアリーナ

### 基本方針

国連のSDGsにおいて、「スポーツは持続可能な開発における重要な鍵となるものである」とし必要不可欠なものとしています。

スポーツ庁では、第3期スポーツ基本計画（2022年度～2026年度）において国民が「みる」「ささえる」ことを真に実現できる社会を目指すため、「新たな3つの視点」が必要になると考えられるとしています。

FSXアリーナでは、誰もがスポーツの楽しさや喜びを味わい、さらに人々と共有することで、健康的な生活が送れるよう事業を展開していきます。



### 第3期スポーツ基本計画（スポーツ庁）における新たな3つの視点

#### 1 「つくる／はぐくむ」

社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し・改善し、最適な手法・ルールを考え、作り出す。

#### 2 「あつまり、ともに、つながる」

様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、課題の対応や活動の実施を図る。

#### 3 「誰もがアクセスできる」

性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違いによって、スポーツ活動の開始や継続に差が生じないような社会の実現や機運の醸成を図る。

## 2026年度の運営概略

- 1 健康づくりのスポーツ事業の充実を図ります。
- 2 スポーツ及びレクリエーションの普及事業の充実を図ります。
- 3 親と子どものスポーツ体験事業の充実を図ります。
- 4 小中学生スポーツ体験事業の充実を図ります。
- 5 共催事業の充実を図ります。
- 6 屋外スポーツ施設の適正な維持管理を図ります。
- 7 関係機関との連携を図ります。

### I スポーツ及びレクリエーション事業

#### 1 健康づくりのスポーツ事業の充実

スポーツを通じた健康増進や誰もがスポーツに親しむことができる環境づくりが、健康的な生活を確保し福祉を推進することにつながります。現在ある事業の充実を図るとともに、誰でも気軽に参加できる事業の検討を行います。

また、トレーニングルームを利用して誰でも気軽に参加できるリフレッシュ体操の充実を図ります。

なお、2024年度は第三体育室にエアコンが整備されました。2026年度は第二体育室にエアコンが整備されるよう国立市と協議します。

#### 2 スポーツ及びレクリエーションの普及事業の充実

スポーツを「する」「みる」「ささえる」という様々な形での自発的な参画を通して、楽しさや喜びを感じられるよう、特に、「みる」スポーツとして、プロスポーツ選手の生のプレーを観戦し、スポーツの楽しさや喜びを味わえるよう、「国立プロスポーツ観戦DAY」の充実を図ります。

また、中高年を対象とした「ゴルフ教室」等を実施し、楽しみながら技術の向上を図ることやスポーツ・レクリエーションの楽しさを体験できるよう事業の充実を図ります。

#### 3 親と子どものスポーツ体験事業の充実

幼児期の子どもから運動やスポーツの機会を与えることは、発達段階において非常に重要です。スポーツの好きな子はもちろんのこと、スポーツに関心のない子や苦手な子も含めて、親子でスポーツを楽しめるよう、子どもの運動・遊びの機会の充実を図ります。

#### 4 小中学生のスポーツ体験事業の充実

小中学生を対象として長期休暇中にF S Xアリーナで卓球、バドミントン及び水泳の場を無料で開放することにより、スポーツを楽しむことや、コミュニケーションを図ることにより、F S Xアリーナに親しみを持ってもらえるよう、「小中学生無料開放」等の充実を図ります。

また、夏の時期になると水の事故が増えることから、6月に小学生高学年を対象にした着衣泳水泳教室を検討実施し、来年度以降正式に事業として組み込めるか検討します。

## 5 共催事業の充実

国立市スポーツ協会とは、子供を中心に家族で楽しんでもらう「ファミリーフェスティバル」、誰でも気軽に参加できる「くにたちウォーキング」、スポーツに携わった関係者等による「スポーツ講演会」の3事業を共催しており、さらなる充実を図ります。

国立市とは、「小学生初心者水泳教室」の事業を共催し、低学年から高学年まで泳ぎの苦手な人が泳げるように事業の充実を図ります。

くにたちエールとは、「小学生かけっこ教室」の事業を共催しており、運動の基礎となる走力を身に着けることを目指して、施設の提供を行っています。

## 6 屋外スポーツ施設の適正な維持管理

F S Xアリーナでは、屋外スポーツ施設として野球場、サッカー場、テニスコート等の貸出を行っています。屋外でのスポーツは、何よりも広く開放的な環境で体を動かせることが魅力で、精神的にとっても健康的と言えます。利用者が安全に快適に利用していただくために、施設の適正な維持管理を図ります。

また、2023年度は谷保テニスコート、2025年度は広場テニスコートの人工芝の張替え工事を行いました。2026年度は矢川テニスコートの人工芝の張替え工事が行えるよう市と協議します。

## 7 関係機関との連携

国立市スポーツ協会をはじめ東京女子体育大学、一橋大学、総合型地域スポーツクラブ（くにたちエール）等との連携強化を図ります。特にくにたちエールとは、お互いの事業の棲み分け等について検討し、かけっこ教室は年3回に増やし充実していきます。

また、しょうがいしゃスポーツを推進・支援するために、東京都等が主催するしょうがいしゃスポーツ関連の講習会・セミナー等の会場を提供し、より多くの市民への理解が深められるよう目指します。

## II 学校開放受付業務受託事業

国立市から国立市立小・中学校の施設開放事業に係る受付事務を受託し、市民がスポーツをする場の提供を行い、利便性の向上を図ります。

## III 特定保健指導における運動継続支援業務受託事業

国立市から国民健康保険が実施する特定保健指導における運動継続支援業務を受託し、市民の健康増進に寄与します。特に特定保健指導終了後も参加者が継続して運動できるよう努めます。

3 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)

[スポーツ・レクリエーション事業]

(1)健康づくりのスポーツ事業

計画事業 通し番号	計				
	事	業	名	開催形態	実施月
1	やさしいヨガ①～④	(4回	各8日間)	自主	5月・8月 10月・1月
2	初めての気功と健康太極拳①～⑤	(5回	各8日間)	自主	4月・6月 9月・11月 1月
3	太極拳24式・48式①～⑤	(5回	各8日間)	自主	4月・6月 9月・11月 1月
4	水中リズムウォーキング①～④	(4回	各8日間)	自主	4月・9月 11月・1月
5	骨盤調整&エアロビクス①～④	(4回	各8日間)	自主	4月・6月 11月・1月
6	楽しいフラダンス①～③	(3回	各6日間)	自主	4月・9月 12月
7	インターバル速歩			自主	4月～3月

(2)スポーツ及びレクリエーションの普及事業

8	初心者ゴルフ教室	(1回	12日間)	自主	4月	
9	レベルアップゴルフ①・②	(1回	12日間、1回	6日間)	自主	9月・2月
10	国立プロスポーツ観戦DAY			自主	7月	

(3)親と子どものスポーツ体験事業

○	11	親子体操教室①～③	(3回	各8日間)	自主	5月・9月 1月
○	12	親子野球教室①・②	(2回	各1日間)	自主	10月・3月
○	13	親子スイミング教室①～③	(3回	各6日間)	自主	5月・11月 2月

- こどもおすすめ事業  
● 新規事業

画	SDG s 関連
事業内容及び説明	
ヨガの基本的な動作をわかりやすく取り入れ、身体をリラックスし心身のリフレッシュと健康増進を図ります。	目標 3
初心者向けの13勢基本法の太極拳にゆっくりした呼吸法を取入れ、足腰等を鍛錬し健康増進を図ります。	目標 3
中国武術の一派を基に制定された健康運動法として、中国政府が編纂、制定した太極拳を学び健康増進を図ります。	目標 3
水中を歩いたりストレッチ・ダンス等を行うことにより、浮力を利用して身体全体を動かし、健康増進を図ります。	目標 3
音楽のリズムに合わせた有酸素運動に加えて、骨盤を調整するストレッチを取り入れ、健康な身体づくりと健康増進を図ります。	目標 3
音楽に合わせてバランスを取りながら、優雅に全身を動かすことにより健康増進を図ります。	目標 3
心肺機能と脚筋力を向上するインターバル速歩の講習会です。毎月第1金曜日に実技を行うほか、随時、座学を開催します。	目標 3

ゴルフの基本的な技術指導を行い、ゴルフの楽しさや技術とルールを学びます。	目標 3
ゴルフの応用的な技術指導を行い、ルールを学び、参加者のレベルアップを図ります。	目標 3
プロスポーツ選手のプレーをスタジアムで観戦し、スポーツの普及・振興を図ります。	目標 3

親子で一緒に運動することにより、楽しみながらコミュニケーションを図り、また親の親睦の場として子育ての一助を目指します。	目標 3 目標 4
野球という最もポピュラーなスポーツを通じて、親子の関係作りを図ります。	目標 3 目標 4
親子で水に親しみながらコミュニケーションを図り、また親の親睦の場になることを目指します。	目標 3 目標 4

(4)小中学生スポーツ体験事業

計画事業 通し番号	計				
	事	業	名	開催形態	実施月
○ 14	小・中学生無料開放①～③ (夏1回、冬1回、春1回)			自 主	7月・1月 3月
○ 15	小学生バドミントン教室①、② (2回 各6日間)			自 主	4月・9月
○ 16	初心者ミニバスケット教室 (1回、2日間)			自 主	8月
○ 17	サッカークリニック			自 主	1月
○ 18	小学生夏休み水泳教室			自 主	8月

(5)共催事業

○ 19	第36回ファミリーフェスティバル			共 催	5月
20	第36回くにたちウォーキング			共 催	10月
21	スポーツ講演会			共 催	3月
○ 22	小学生初心者水泳教室			共 催	5月～7月
○ 23	小学生かけっこ教室			共 催	4月～6月 9月～11月 1月～3月

- こどもおすすめ事業  
● 新規事業

画	SDG s 関連
事業内容及び説明	
学校の休み期間に、子どもたちや親子で卓球、バドミントン、水泳を楽しく体験し、ルールを学び、スポーツの普及を図ります。	目標 3 目標 4
バドミントンを基礎から学び、楽しさと親睦を図ります。	目標 3 目標 4
ミニバスケット対応のゴールを設置し、小学生の初心者を対象に基礎を学び、楽しさと親睦を図ります。	目標 3 目標 4
小学生から中学生を対象に専門の指導員を派遣し、サッカーの基礎や応用を学ぶ場を提供することにより、楽しさと親睦を図ります。	目標 3 目標 4
小学校で行っていた水泳教室は酷暑中止が多かったことから、会場をF S Xアリーナ室内プールに変え財団主催にしました。	目標 3 目標 4

F S Xアリーナ及び周辺にスポーツやゲームのコーナーを設け、子どもを中心に家族で楽しんでもらうイベントを開催します。（共催：国立市スポーツ協会）	目標 3
市内の名所・見どころ等を巡るコースを選定し、完歩賞を発行するなど、誰でも自由に参加できるウォーキングを行います。（共催：国立市スポーツ協会）	目標 3
スポーツに携わった関係者等による講演会を開催し、スポーツの普及を図ります。（共催：国立市スポーツ協会）	目標 3
全8回の水泳教室です。低学年、高学年の2コースを設け、泳ぎを学び、水泳の楽しさと親睦を図ります。（共催：国立市）	目標 3 目標 4
運動の基礎となる走力を身に着けることを目指しています。実施時期についても運動会の前など参加意欲がわくよう工夫します。（共催：くにたちエール）	目標 3

SDGs 目標 3 「すべての人に健康と福祉を」  
目標 4 「質の高い教育をみんなに」

#### 4 共通公益事業（総務課）

- (1) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業

(定款第4条第4号)

国立市の芸術、文化、スポーツの振興に寄与すると認められる市民団体等に対して、その事業に必要な費用の一部を助成し、市民の芸術、文化、スポーツ活動のより一層の振興を図っていきます。

- (2) 公益財団広報紙「オアシス」の発行等事業（定款第4条第7号）

市民向けに公益財団広報紙「オアシス」を発行します。その内容をホームページに掲載し市内外にも情報を発信していきます。

- (3) 指定管理事務

各館の指定管理事業に係る予算編成、予算執行管理等を適正に行います。

#### 5 指定管理事業（各館共通）（定款第4条第6号）

当財団が管理運営するF S Xホール、郷土文化館、F S Xアリーナの施設・設備の老朽化が進み、補修や更新の頻度が高まっているため、利用者の安全と施設利用の要望に一層配慮しつつ、施設の維持管理に努めていきます。

- (1) それぞれの施設の目的・特徴を活かし、施設のより効率的な運営と公平な市民サービス向上に努めます。

- ・嘱託員の一層の接遇を含めた資質向上に努めます。
- ・専門員の専門性を高めるために研修を積み、施設としての役割を十分に果たすとともに広範な市民のニーズに応えられるよう努力します。
- ・国立市の推薦に基づいて採用された固有職員を除き、財団独自で雇用した固有職員の処遇の改善を実施します。

- (2) 市民の自発的な諸活動を支える施設の運営、設備の整備に努めます。

## II 収益事業等

施設利用者の利便性を考慮し、各施設における需要に応えたサービス事業を行います。

### 1 付帯サービス事業（定款第4条第2項）

- (1) チケット販売事業（F S Xホール）
- (2) 飲料水等販売事業（郷土文化館・F S Xホール）
- (3) グッズ等販売事業（郷土文化館）
- (4) 体育用品の販売事業（F S Xアリーナ）

### 2 その他の事業

- (1) 公益事業外の施設貸与事業

### Ⅲ 管理(法人管理事業)

#### 1 役員及び役員会等に関する事業（定款第4条第7号）

##### (1) 理事、監事及び評議員の任期

ア 評議員 2023年5月31日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち  
最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

イ 理事 2025年5月30日から就任後2年以内に終了する事業年度のうち  
最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

ウ 監事 2023年5月31日から就任後4年以内に終了する事業年度のうち  
最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

##### (2) 理事会等の開催

ア 理事会 年3回

イ 評議員会 年3回

ウ 決算監査、中間監査 各1回



2 0 2 6 年 度

収 支 予 算 書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

# 2026年度収支予算書 (損益計算ベース)

2026年4月1日から2027年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法 人 会 計			合 計		
	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減
I 一般正味財産増減の部												
1 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益	960	265	695							960	265	695
基本財産利息	960	265	695							960	265	695
特定資産運用益												
特定資産利息												
事業収益	415,654	385,048	30,606	11,545	11,545	0	17,600	16,400	1,200	444,799	412,993	31,806
自主・共催事業収益	17,015	15,768	1,247							17,015	15,768	1,247
国上市指定管理料収益	323,408	291,562	31,846	7,470	7,470	0	17,600	16,400	1,200	348,478	315,432	33,046
国上市受託料収益	8,932	8,899	33							8,932	8,899	33
利用料収益	65,999	68,219	△ 2,220	2,170	2,170	0				68,169	70,389	△ 2,220
広告料収益	300	600	△ 300							300	600	△ 300
付帯サービス事業収益				1,905	1,905	0				1,905	1,905	0
受取補助金等	67,414	64,391	3,023				13,784	13,643	141	81,198	78,034	3,164
国上市補助金	65,152	62,129	3,023				13,784	13,643	141	78,936	75,772	3,164
民間等助成金	107	107	0							107	107	0
国等助成金	2,155	2,155	0							2,155	2,155	0
受取寄付金等	30	30	0							30	30	0
受取寄付金振替額	30	30	0							30	30	0
雑収益	190	96	94	50	50	0				240	146	94
受取利息	120	26	94							120	26	94
行政資料等販売収益				50	50	0				50	50	0
雑収益	70	70	0							70	70	0
<b>経常収益計</b>	484,248	449,830	34,418	11,595	11,595	0	31,384	30,043	1,341	527,227	491,468	35,759
(2) 経常費用												
事業費	484,248	449,830	34,418	11,595	11,595	0				495,843	461,425	34,418
報 酬	51,722	50,937	785	1,479	1,679	△ 200				53,201	52,616	585
給料手当	62,711	58,012	4,699	490	490	0				63,201	58,502	4,699
賞与引当金	5,575	4,809	766							5,575	4,809	766
法定福利費	12,969	12,406	563	110	110	0				13,079	12,516	563
中退共掛金	2,160	1,800	360							2,160	1,800	360
臨時雇賃金	3,111	2,853	258							3,111	2,853	258
福利厚生費	602	606	△ 4							602	606	△ 4
旅費交通費	2,717	2,010	707							2,717	2,010	707
会議費	171	169	2							171	169	2
通信運搬費	3,266	3,403	△ 137							3,266	3,403	△ 137
消耗品費	10,382	10,921	△ 539	872	952	△ 80				11,254	11,873	△ 619
印刷製本費	4,303	3,492	811							4,303	3,492	811
修繕費	13,764	13,601	163	330	330	0				14,094	13,931	163
光熱水費	61,090	58,749	2,341	1,470	1,470	0				62,560	60,219	2,341
燃料費	286	300	△ 14							286	300	△ 14
賃借料	9,462	9,682	△ 220	180	180	0				9,642	9,862	△ 220
保険料	1,028	1,040	△ 12							1,028	1,040	△ 12
諸謝金	12,125	12,347	△ 222							12,125	12,347	△ 222
手数料	2,150	2,229	△ 79	526	636	△ 110				2,676	2,865	△ 189
租税公課	8,926	7,682	1,244	165	165	0				9,091	7,847	1,244
広告宣伝費	240	240	0							240	240	0
支払助成金	1,610	1,610	0							1,610	1,610	0
委託費	197,428	177,810	19,618	5,973	5,583	390				203,401	183,393	20,008
支払負担金	1,770	1,743	27							1,770	1,743	27
ソフトウェア関連費	4,062	3,921	141							4,062	3,921	141
雑費	100	100	0							100	100	0
減価償却費	10,518	7,358	3,160							10,518	7,358	3,160

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法 人 会 計			合 計		
	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減
管理費							31,314	29,973	1,341	31,314	29,973	1,341
役員報酬							8,043	8,043	0	8,043	8,043	0
給料手当							14,290	13,988	302	14,290	13,988	302
賞与引当金							1,206	1,128	78	1,206	1,128	78
法定福利費							3,343	3,422	△ 79	3,343	3,422	△ 79
臨時雇賃金							45	43	2	45	43	2
福利厚生費							94	101	△ 7	94	101	△ 7
旅費交通費							134	11	123	134	11	123
会議費							40	40	0	40	40	0
通信運搬費							220	234	△ 14	220	234	△ 14
消耗品費							150	150	0	150	150	0
印刷製本費												
修繕費							20	30	△ 10	20	30	△ 10
光熱水費							420	420	0	420	420	0
燃料費												
賃借料							1,027	832	195	1,027	832	195
諸謝金							350	338	12	350	338	12
手数料							52	52	0	52	52	0
租税公課							244	244	0	244	244	0
助成金												
委託費							867	185	682	867	185	682
支払負担金							208	227	△ 19	208	227	△ 19
ソフトウェア関連費							556	480	76	556	480	76
雑費							5	5	0	5	5	0
<b>経常費用計</b>	484,248	449,830	34,418	11,595	11,595	0	31,314	29,973	1,341	527,157	491,398	35,759
調整前当期経常増減額							70	70	0	70	70	0
評価損益等												
当期経常増減額							70	70	0	70	70	0
2 経常外増減の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計												
(2) 経常外費用												
経常外費用計												
当期経常外増減額												
法人税等							70	70	0	70	70	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0	2,032	2,032	0	9,500	9,500	0	11,532	11,532	0
一般正味財産期末残高	0	0	0	2,032	2,032	0	9,500	9,500	0	11,532	11,532	0
II 指定正味財産増減の部												
一般正味財産への振替額												
受取市補助金												
受取寄付金												
当期指定正味財産増減額												
指定正味財産期首残高	312,545	312,545	0							312,545	312,545	0
指定正味財産期末残高	312,545	312,545	0							312,545	312,545	0
III 正味財産期末残高	312,545	312,545	0	2,032	2,032	0	9,500	9,500	0	324,077	324,077	0

## 資金調達及び設備投資の見込み (2026年4月1日から2027年3月31日まで)

- 1 資金調達の見込みについて  
2026年度中に借入れの予定はありません。
- 2 設備投資の見込みについて  
2026年度中に新たな設備投資の見込みはありません。



2 0 2 6 年 度

収 支 予 算 内 訳 書

# 2026年度収支予算内訳書 (損益計算ベース)

2026年4月1日から2027年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益事業等会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引 控 除	合計
	芸術文化 事業	郷土文化 事業	スポーツレクリ エーション事業	小計	付帯サービス 事業	施設管理 運営事業	小計			
I 一般正味財産増減の部										
1 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益		960		960						960
基本財産利息		960		960						960
特定資産運用益										0
特定資産利息										0
事業収益	98,928	71,931	244,795	415,654	1,905	9,640	11,545	17,600		444,799
自主・共催事業収益	3,137	1,033	12,845	17,015						17,015
国上市指定管理料収益	78,551	65,456	179,401	323,408		7,470	7,470	17,600		348,478
国上市受託料収益		4,000	4,932	8,932						8,932
利用料収益	17,140	1,342	47,517	65,999		2,170	2,170			68,169
広告料収益	100	100	100	300						300
付帯サービス事業収益					1,905		1,905			1,905
受取補助金等	25,478	31,163	10,773	67,414				13,784		81,198
国上市補助金	23,216	31,163	10,773	65,152				13,784		78,936
国等助成金	2,155			2,155						2,155
民間等助成金	107			107						107
受取寄付金等	30			30						30
受取寄付金振替額	30			30						30
雑収益	155	35		190		50	50			240
受取利息	120			120						120
行政資料等販売収益						50	50			50
雑収益	35	35		70						70
<b>経常収益計</b>	124,591	104,089	255,568	484,248	1,905	9,690	11,595	31,384		527,227
(2) 経常費用										
事業費	124,591	104,089	255,568	484,248	1,905	9,690	11,595			495,843
報酬	20,494	14,527	16,701	51,722	175	1,304	1,479			53,201
給料手当	14,778	26,719	21,214	62,711		490	490			63,201
賞与引当金	1,462	2,639	1,474	5,575						5,575
法定福利費	3,420	5,883	3,666	12,969		110	110			13,079
中退共掛金	360	1,440	360	2,160						2,160
臨時雇賃金	865	1,936	310	3,111						3,111
福利厚生費	178	193	231	602						602
旅費交通費	844	1,373	500	2,717						2,717
会議費	108	53	10	171						171
通信運搬費	1,176	1,100	990	3,266						3,266
消耗品費	1,909	2,170	6,303	10,382	510	362	872			11,254
印刷製本費	1,762	1,622	919	4,303						4,303
修繕費	1,782	2,090	9,892	13,764		330	330			14,094
光熱水費	10,318	6,184	44,588	61,090		1,470	1,470			62,560
燃料費		86	200	286						286
賃借料	3,074	1,360	5,028	9,462		180	180			9,642
保険料	153	137	738	1,028						1,028
諸謝金	3,773	332	8,020	12,125						12,125
手数料	1,291	389	470	2,150	450	76	526			2,676
租税公課	2,118	1,948	4,860	8,926	60	105	165			9,091
広告宣伝費	240			240						240
支払助成金	540	540	530	1,610						1,610
委託費	51,953	27,519	117,956	197,428	710	5,263	5,973			203,401
支払負担金	210	60	1,500	1,770						1,770
ソフトウェア関連費	1,783	989	1,290	4,062						4,062
雑費		100		100						100
減価償却費		2,700	7,818	10,518						10,518

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引 控 除	合計
	芸術文化 事業	郷土文化 事業	スポーツ・レクリ エーション事業	小計	付帯サービス 事業	施設管理 運営事業	小計			
管理費								31,314		31,314
役員報酬								8,043		8,043
給料手当								14,290		14,290
賞与引当金								1,206		1,206
法定福利費								3,343		3,343
臨時雇賃金								45		45
福利厚生費								94		94
旅費交通費								134		134
会議費								40		40
通信運搬費								220		220
消耗品費								150		150
印刷製本費										0
修繕費								20		20
光熱水費								420		420
燃料費										0
賃借料								1,027		1,027
諸謝金								350		350
手数料								52		52
租税公課								244		244
助成金										0
委託費								867		867
支払負担金								208		208
ソフトウェア関連費								556		556
雑費								5		5
<b>経常費用計</b>	124,591	104,089	255,568	484,248	1,905	9,690	11,595	31,314	0	527,157
調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	70	0	70
評価損益等										
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	70	0	70
2 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計										
(2) 経常外費用										
経常外費用計										
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税等								70		70
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高				0	2,032		2,032	9,500		11,532
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	2,032	0	2,032	9,500	0	11,532
II 指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額										
受取市補助金										
受取寄付金										
当期指定正味財産増減額				0			0	0	0	0
指定正味財産期首残高	110,295	92,250	110,000	312,545			0	0		312,545
指定正味財産期末残高	110,295	92,250	110,000	312,545	0	0	0	0	0	312,545
III 正味財産期末残高	110,295	92,250	110,000	312,545	2,032	0	2,032	9,500	0	324,077